

坂城町学校施設長寿命化計画

令和 3（2021）年 3 月

坂城町教育委員会



坂城町学校施設長寿命化計画

計画期間

令和 3（2021）年度 ～ 令和 12（2030）年度

目 次

第 1 章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
1 計画の背景	1
2 計画の目的	2
3 計画の位置づけ	2
4 対象施設	3
5 計画期間	3
第 2 章 学校施設の目指すべき姿	4
第 3 章 学校施設の実態	5
1 本町における人口の動向	5
(1) 人口・世帯数の推移	5
(2) 将来人口	6
2 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	8
(1) 児童生徒数の推移	8
(2) 学校施設位置図	9
(3) 学校施設の保有量	10
(4) 学校施設保有状況	12
(5) 学校施設関連経費の推移と修繕履歴	13
3 今後の維持・更新コスト（従来型）	18
4 学校施設の老朽化状況の実態	19
(1) 構造躯体の健全性の把握と評価方法	19
(2) 劣化状況の評価方法	20
(3) 調査方法	21
(4) 劣化状況調査結果	24
第 4 章 学校施設整備の基本的な方針等	26
1 学校施設の規模・配置計画等の方針	26
2 長寿命化計画の基本的な方針	27
3 改修等の基本的な方針	28
4 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	29
5 目標耐用年数の設定	30
6 更新周期	31
7 今後の方向性の定義	32

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	33
1 改修等の整備水準	33
2 維持管理の項目・手法等	36
第6章 長寿命化の実施計画	38
1 長寿命化の実施計画（中・長期計画）について	38
2 優先順位の考え方	38
3 学校施設の個別施設計画	40
4 学校施設の個別施設計画表	41
（1）南条小学校	42
（2）坂城小学校	44
（3）村上小学校	46
（4）坂城中学校	48
（5）大峰教室	50
5 今後の維持・更新コスト（中・長期計画）	52
第7章 長寿命化計画の継続的運用	53
1 情報基盤の整備と活用	53
2 財源の確保	54
3 推進体制等の整備	54
4 フォローアップの実施方針	54

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1 計画の背景

坂城町（以下「本町」という。）の学校施設は、南条小学校、坂城小学校、村上小学校、坂城中学校、大峰教室です。本町ではこれまでも、改築や大規模改修工事、耐震補強工事等に多額の費用を投じ、安全確保に積極的に取り組んできました。しかし、建物や設備等の老朽化に伴い、今後の維持管理、更新等には膨大な費用が必要になると予測されます。

一方、財政面では、人口減少による税収の伸び悩み、少子高齢化社会の進展に伴う扶助費等経費の増大などによる財政状態の悪化が見込まれています。

国においても施設の老朽化は喫緊の課題と位置づけ、平成25（2013）年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を定め、国民の安全安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図る方針が示されました。

これを踏まえ文部科学省は、平成27（2015）年3月「文部科学省インフラ長寿命化計画（行動計画）」を策定しました。

本町においては、平成29（2017）年3月に「坂城町公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定し、基本方針及び目標を定めました。

これらの指針を基に、学校施設の長寿命化^{*1}計画を立て、可能な限り良好な状態で長期間利用し、施設整備にかかるコストを抑制することにより、中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図り、学校施設の機能を確保することが求められています。

また、学校施設の整備にあたっては、単に劣化した建築物や設備を改修するだけでなく、その機能や性能を時代の要請に合った水準まで引き上げ、安全安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上、多目的利用等を目指して再生を行うことも求められています。

^{*1} 長寿命化：計画的な保全（修繕や改修）を実施することにより、建物の構造的・機能的な寿命（耐震）を延ばすことに加え、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる改修を行うこと。

2 計画の目的

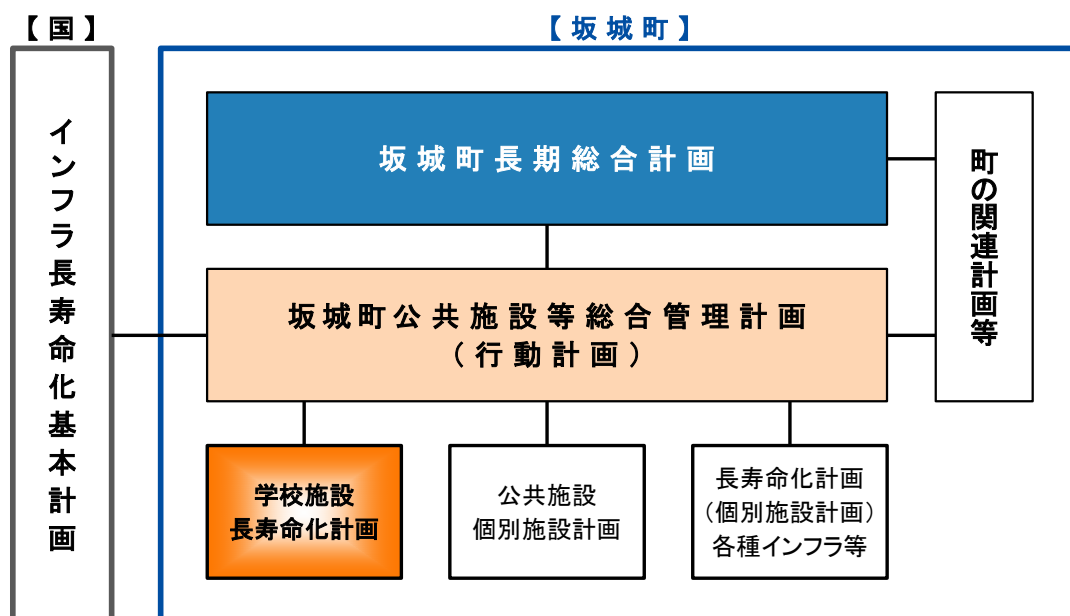
「坂城町学校施設長寿命化計画（以下「本計画」という。）」は、計画の背景を踏まえて、現状の把握・分析に基づき、教育環境の質的改善も考慮しながら、今後の学校施設整備の具体的な計画を検討します。

現地調査を踏まえた劣化診断による劣化度等の評価を行い、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を勘案した長寿命化計画を策定することを目的とします。長寿命化計画では、これまでの「事後保全」から「計画保全」へと維持管理の手法を転換し、施設の機能を常に良好な状態に保つことが重要となります。

3 計画の位置づけ

本計画は、国において公共施設等の老朽化対策として決定された「インフラ長寿命化基本計画」に基づいて策定した総合管理計画において定めた公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針を実現するための計画であり、学校教育系施設も個別施設計画として位置づけられます。

◆図表 1-1 本計画の位置づけ



4 対象施設

本町が保有する南条小学校、坂城小学校、村上小学校、坂城中学校、大峰教室を対象とし、学校施設内に存在する建物はすべて対象とします。

5 計画期間

本計画の計画期間は、上位計画である「坂城町長期総合計画」や「総合管理計画」などと連動しながら、概ね向こう10年間（令和3（2021）年度～令和12（2030）年度）を対象期間とします。

ただし、この期間内でも児童生徒数の変化、社会経済情勢、国の補助制度などの動向により、柔軟に計画を見直すこととします。

なお、コスト試算期間は計画上のゆとりをもたせて40年とします。

第2章 学校施設の目指すべき姿

坂城町第6次長期総合計画において示された方針『生きる力と感性を育む学校教育』を前提とした上で、文部科学省の「学校施設整備基本構想の在り方について」において示された「安全性」、「快適性」、「学習活動への適応性」、「環境への適応性」、「地域の拠点化」の観点から次のとおりとします。

① 安全性

○災害対策

- ・地震に強い学校施設
- ・防災機能を備えた学校施設

○防犯・事故対策

- ・安全で安心な学校施設

② 快適性

○快適な学習環境

- ・学習能率の向上に資する快適な学習環境
- ・バリアフリーに配慮した環境

○教職員に配慮した環境

- ・校務支援システムの導入により教職員の校務負担の軽減

③ 学習活動への適応性

○主体性を養う空間の充実

○効果的、効率的な施設整備

- ・ICT環境の整備（GIGAスクール構想推進のための環境整備）

○運動環境の充実

○伝統や文化に関する教育の充実

○外国語教育の充実

○キャリア教育、進路指導の充実

○食育の充実

○インクルーシブ教育推進のための学校施設

④ 環境への適応性

- ・環境を考慮した学校施設（エコスクール）

⑤ 地域の拠点化

- ・地域に開かれた学校とするための環境
- ・地域の生涯学習の拠点となる学校施設

第3章 学校施設の実態

1 本町における人口の動向

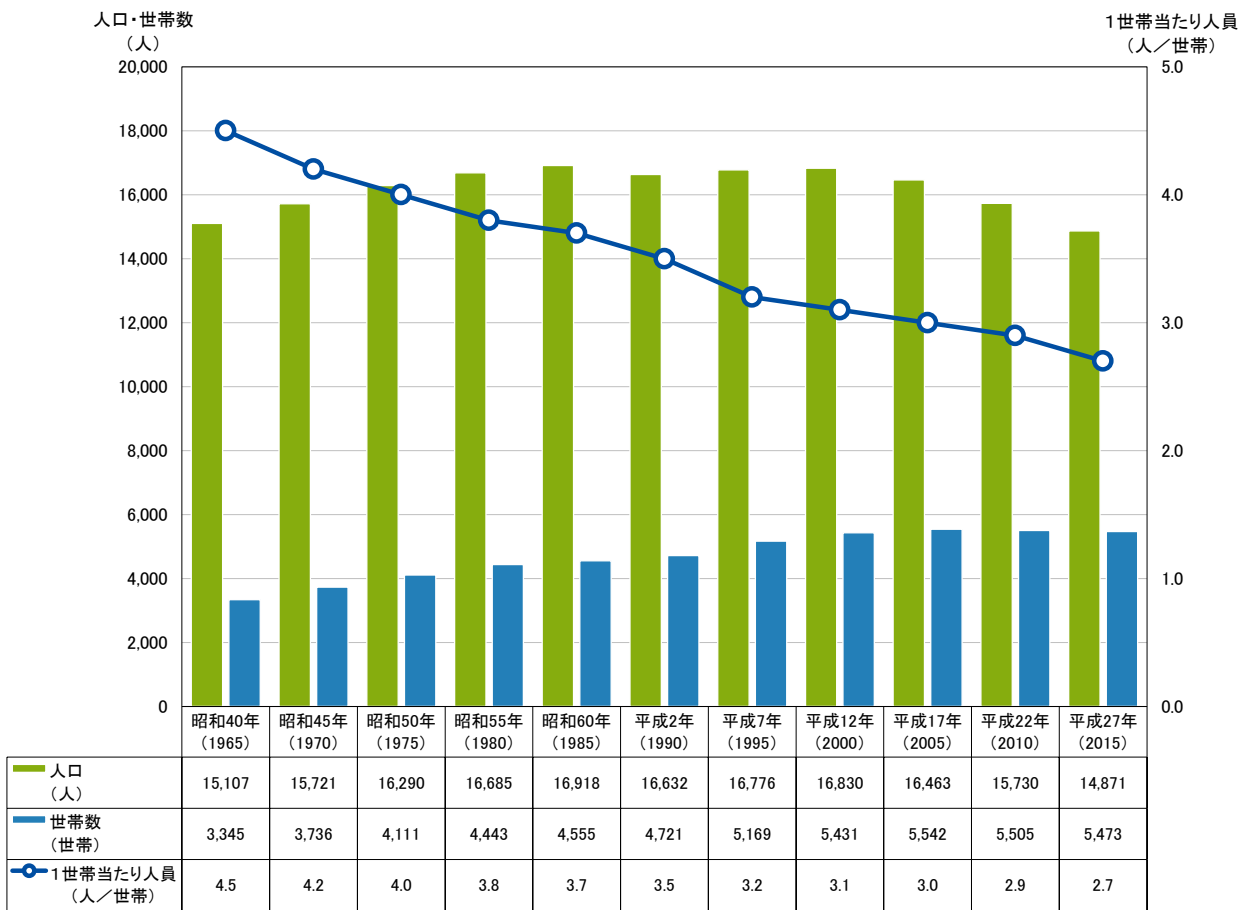
(1) 人口・世帯数の推移

国勢調査による本町の人口・世帯数の推移をみると、昭和 40（1965）年の人口は 15,107 人で、その後昭和 60（1985）年まで増加が続き 16,918 人となりました。それからほぼ横ばいで推移していましたが、平成 27（2015）年に 14,871 人となり、50 年間で初めて 15,000 人を下回りました。

世帯数は、昭和 40（1965）年の 3,345 世帯に対し、平成 12（2000）年は 5,431 世帯と増加傾向にありましたが、それ以降は 5,500 世帯前後で推移しています。

また、1 世帯あたりの人員は、昭和 40（1965）年の 4.5 人から年々減少し、平成 27（2015）年には 2.7 人となっており、小世帯化が進行しています。

◆図表 3-1 人口・世帯数の推移（国勢調査）



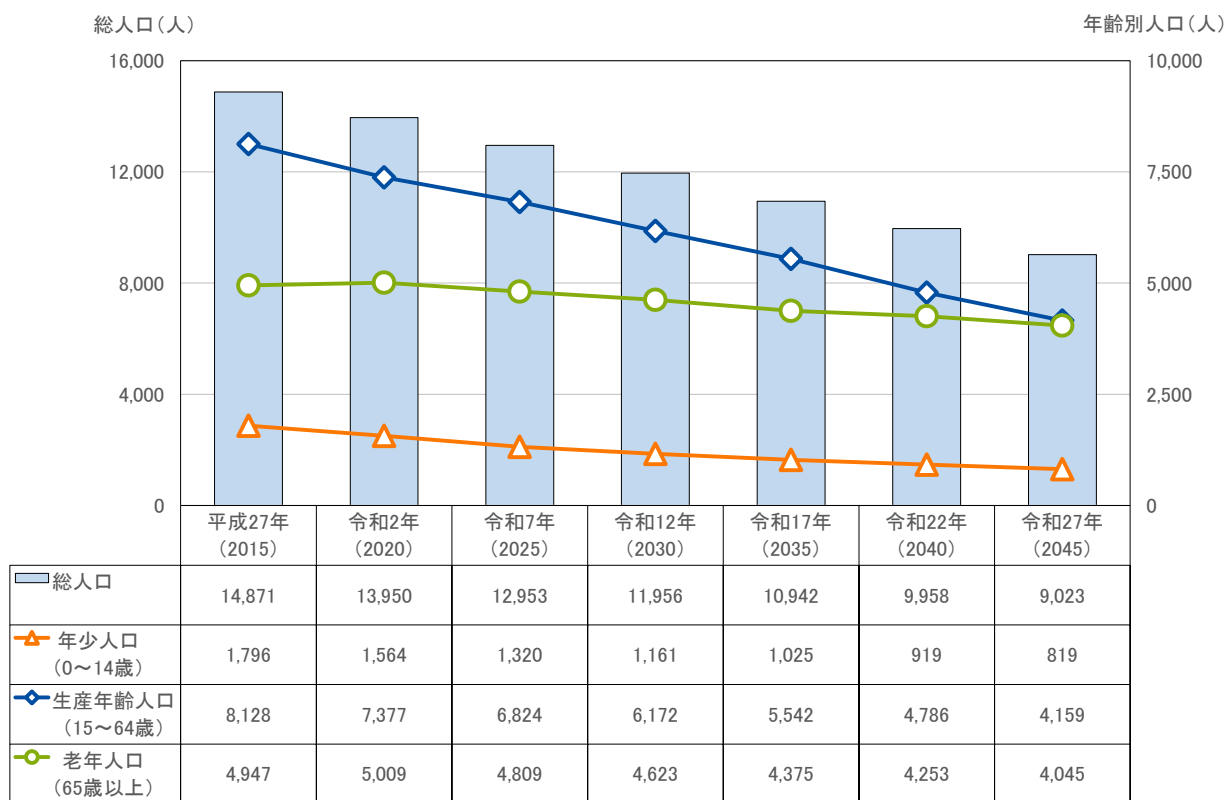
(2) 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所の推計（平成 30（2018）年推計）による、本町の 25 年後の令和 27（2045）年の総人口は 9,023 人で、平成 27（2015）年の 14,871 人に対し、5,848 人（約 39%）減少することが予想されています。

また、年齢階層別にみると、平成 27（2015）年からの 30 年間で、すべての階層で減少することが見込まれており、年少人口（0～14 歳）977 人（約 54%）減少、生産年齢人口（15～64 歳）3,969 人（約 49%）減少、老年人口（65 歳以上）902 人（約 18%）減少となっています。

坂城町人口ビジョンの将来展望は、人口減少、少子高齢化を抑制しながら、令和 22（2040）年に人口 1 万 3 千人、令和 42（2060）年において人口 1 万 2 千人の維持を目指しています。

◆図表 3-2 将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所
『日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）』）



◆図表 3-3 将来展望人口（坂城町人口ビジョン（令和 3（2021）年 3 月抜粋）

(1) 人口の将来展望

本町における人口の将来展望は、国の長期ビジョンや長野県の人ロビジョンを考慮するとともに、人口が減少した場合にも、年齢構成の変化や、生活関連サービス施設の維持など、人口の変化による影響が少なくなることを踏まえて設定します。

本町が掲げる人口規模の展望は、以下のとおりです。

人口減少、少子高齢化を抑制しながら、2040 年（令和 22 年）に人口 1 万 3 千人、
2060 年（令和 42 年）において人口 1 万 2 千人の維持を目指します

(2) 将来推計における目標値の設定

前項で示した人口の将来展望を掲げるための根拠として、将来の人口を推計するにあたり、設定した目標値は、以下のとおりです。

① 合計特殊出生率の上昇

国の長期ビジョンおよび長野県の人ロビジョンにおける合計特殊出生率の目標値を踏まえ、2025 年（令和 7 年）に 1.84、2035 年（令和 17 年）に 2.07 に達するように設定します。

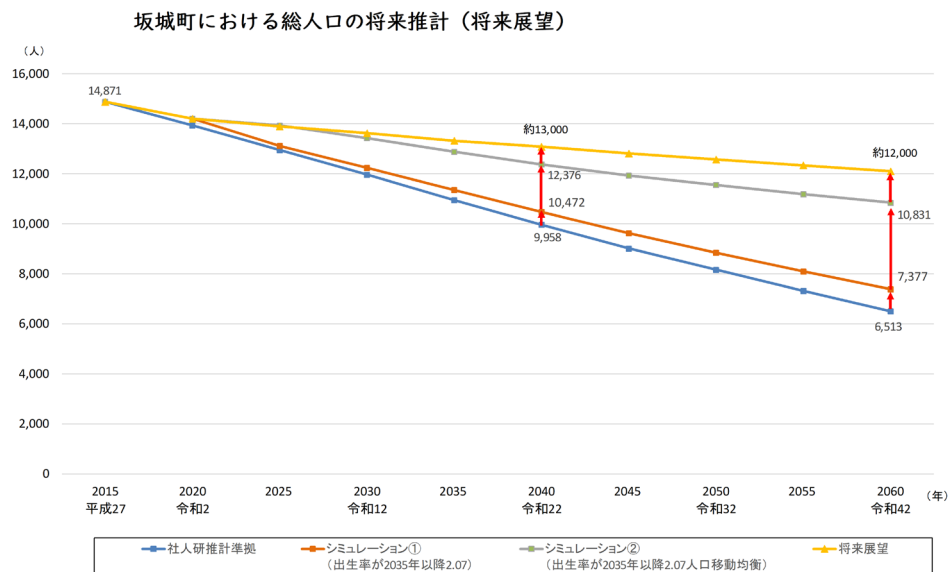
② 社会減から社会増への転換

人口の転出超過を抑制して、2025 年（令和 7 年）以降、転入超過へ転換するように純移動率および移動数を設定します。

具体的には、20、30 歳代を中心として町内への転入を促進することで、2016 年（平成 28 年）～2020 年（令和 2 年）に 21 人減（5 年間）から、2021 年（令和 3 年）～2060 年（令和 42 年）に 147 人増（5 年間平均）に転換することを目指します。

(3) 将来推計結果

前述した目標値を基に推計した本町における人口の将来展望は、以下のとおりです。



出展：2015 年は総務省「国勢調査」、シミュレーション①・②及び将来展望の 2020～2060 年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

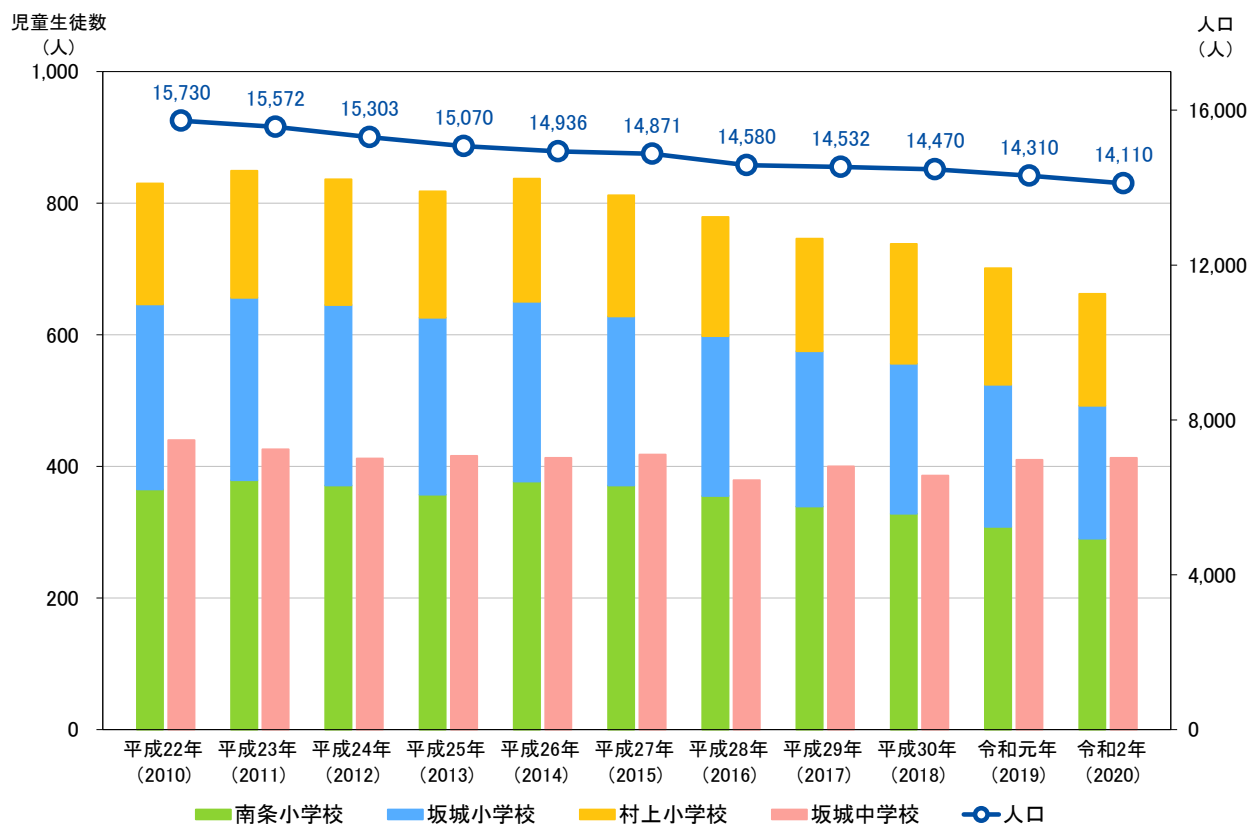
2 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

(1) 児童生徒数の推移

平成 22 (2010) 年以降の小学校及び中学校の児童生徒数の推移をみると、児童数は多少の増減があるものの、平成 22 (2010) 年に 830 人であったのに対し、令和 2 (2020) 年には 662 人となり、168 人（約 20%）減少しています。

また、生徒数は 400 人前後とほぼ横ばいで推移しています。

◆図表 3-4 児童生徒数の推移（坂城町統計書）

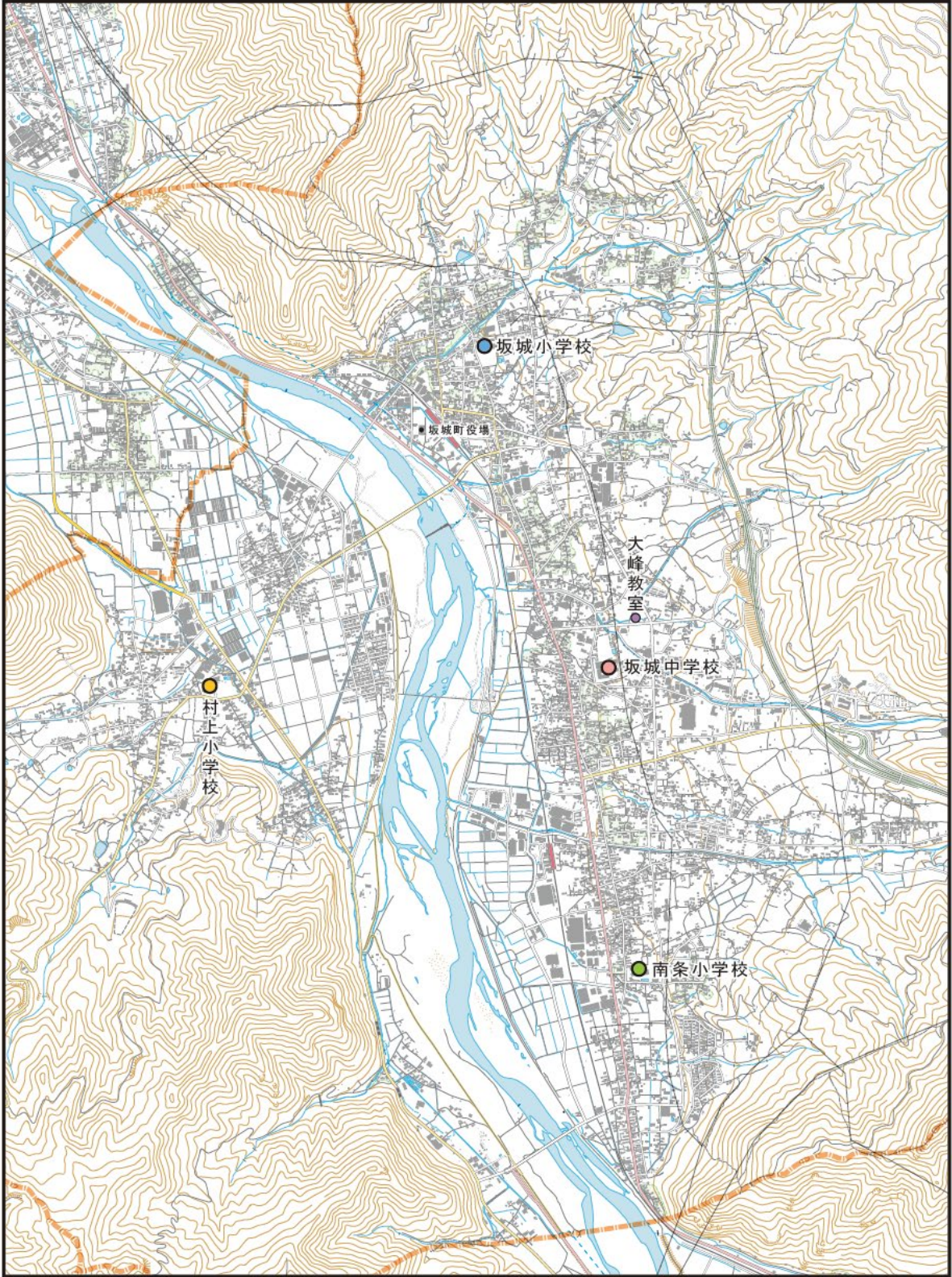


◆図表 3-5 児童生徒数・学級数の推移（坂城町統計書）

児童生徒数	平成22年 (2010)		平成23年 (2011)		平成24年 (2012)		平成25年 (2013)		平成26年 (2014)		平成27年 (2015)		平成28年 (2016)		平成29年 (2017)		平成30年 (2018)		令和元年 (2019)		令和2年 (2020)	
	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数	級	人数
南条小学校	15	365人	15	379人	15	371人	14	357人	14	377人	14	371人	15	355人	15	339人	15	328人	15	308人	15	290人
坂城小学校	13	281人	13	277人	13	274人	13	269人	14	273人	14	257人	14	243人	14	236人	13	228人	12	216人	11	202人
村上小学校	9	184人	10	193人	9	191人	10	192人	10	187人	10	184人	11	181人	10	171人	10	182人	10	177人	9	170人
計	37	830人	38	849人	37	836人	37	818人	38	837人	38	812人	40	779人	39	746人	38	738人	37	701人	35	662人
坂城中学校	14	440人	14	426人	14	412人	16	416人	16	413人	16	418人	15	379人	15	400人	16	386人	16	410人	15	413人

(2) 学校施設位置図

◆図表 3-6 学校施設位置図



(3) 学校施設の保有量

本計画対象施設の建物は、南条小学校 5,960.46 m² (7 棟)、坂城小学校 6,479.63 m² (8 棟)、村上小学校 5,065.45 m² (8 棟)、坂城中学校 10,327.58 m² (10 棟)、大峰教室 101.00 m² (1 棟) であり、総延床面積は 27,934.12 m² です。建物以外にプールが各学校にあります。

◆図表 3-7-1 対象施設一覧表

番号	施設名	建物名	学校調査 番号	棟番号	所在地	構造	延床面積 (m ²)	建築年度 西暦	建築年度 和暦
1	南条小学校	屋内運動場	1902	019	南条2036	S	854.06	1976	S51
2	南条小学校	南普通教室棟	1902	023	南条2036	RC	954.71	2015	H27
3	南条小学校	北普通教室棟	1902	22	南条2036	RC	1,611.49	2015	H27
4	南条小学校	管理・特別教室棟	1902	024	南条2036	RC	1,752.70	2015	H27
5	南条小学校	音楽堂棟	1902	025-1	南条2036	RC	710.36	2015	H27
6	南条小学校	外部渡り廊下	1902	025-2	南条2036	S	63.89	2015	H27
7	南条小学校	プール浄化室			南条2036	W	13.25	1970	S45
A	南条小学校	プール			南条2036	RC	(大)25×13 (小)9×12	1960	S35
8	坂城小学校	プール更衣室			坂城6227	W	65.32	1970	S45
9	坂城小学校	プール浄化室	1901	015	坂城6227	CB	6.00	1970	S45
10	坂城小学校	屋内運動場	1901	019	坂城6227	S	968.00	1979	S54
11	坂城小学校	南校舎	1901	017-1	坂城6227	RC	1,088.00	1977	S52
12	坂城小学校	昇降口棟	1901	017-2	坂城6227	RC	697.00	1977	S52
13	坂城小学校	ブレイルーム棟	1901	017-3	坂城6227	RC	175.00	1977	S52
14	坂城小学校	北校舎	1901	018-1, 018-2	坂城6227	RC	3,472.31	1978	S53
15	坂城小学校	プール便所	1901	021	坂城6227	W	8.00	1994	H6
B	坂城小学校	プール			坂城6227	RC	(大)25×15 (小)15×10	1960	S35

◆図表 3-7-2 対象施設一覧表

番号	施設名	建物名	学校調査 番号	棟番号	所在地	構造	延床面積 (㎡)	建築年度 西暦	建築年度 和暦
16	村上小学校	プール更衣室、便所			上平1428-1	CB	30.25	1973	S48
17	村上小学校	プール浄化室	1903	017	上平1428-1	CB	6.00	1973	S48
18	村上小学校	普通教室棟	1903	018	上平1428-1	RC	1,822.15	1977	S52
19	村上小学校	管理棟	1903	019	上平1428-1	RC	412.51	1979	S54
20	村上小学校	特別教室棟	1903	020	上平1428-1	RC	1,665.54	1978	S53
21	村上小学校	ポンプ室	1903	021	上平1428-1	CB	12.00	1978	S53
22	村上小学校	屋内運動場	1903	022-1	上平1428-1	S	1,016.00	1979	S54
23	村上小学校	渡り廊下	1903	022-2	上平1428-1	S	101.00	1979	S54
C	村上小学校	プール			上平1428-1	RC	(大)25×13 (小)7×13	1960	S35
24	坂城中学校	普通教室棟	4901	038	中之条926	RC	3,375.75	1992	H4
25	坂城中学校	特別教室棟	4901	041	中之条926	RC	1,652.31	1992	H4
26	坂城中学校	昇降口・管理・特別教室棟	4901	042	中之条926	RC	3,100.77	1993	H5
27	坂城中学校	屋内運動場	4901	046-1, 046-2, 047	中之条926	RC	1,749.75	1996	H8
28	坂城中学校	陶芸室	4901	048	中之条926	RC	13.00	1997	H9
29	坂城中学校	ゴミ置き場	4901	049	中之条926	RC	56.00	1997	H9
30	坂城中学校	部室	4901	050	中之条926	W	88.00	1997	H9
31	坂城中学校	部室	4901	051	中之条926	W	105.00	1997	H9
32	坂城中学校	グラウンド用具庫	4901	052	中之条926	RC	98.00	1997	H9
33	坂城中学校	プール専用付属室	4901	053	中之条926	RC	89.00	1997	H9
D	坂城中学校	プール			中之条926	RC	25×17	1962	S37
34	大峰教室	中間教室	4901	029	中之条2470-7	W	101.00	1971	S46

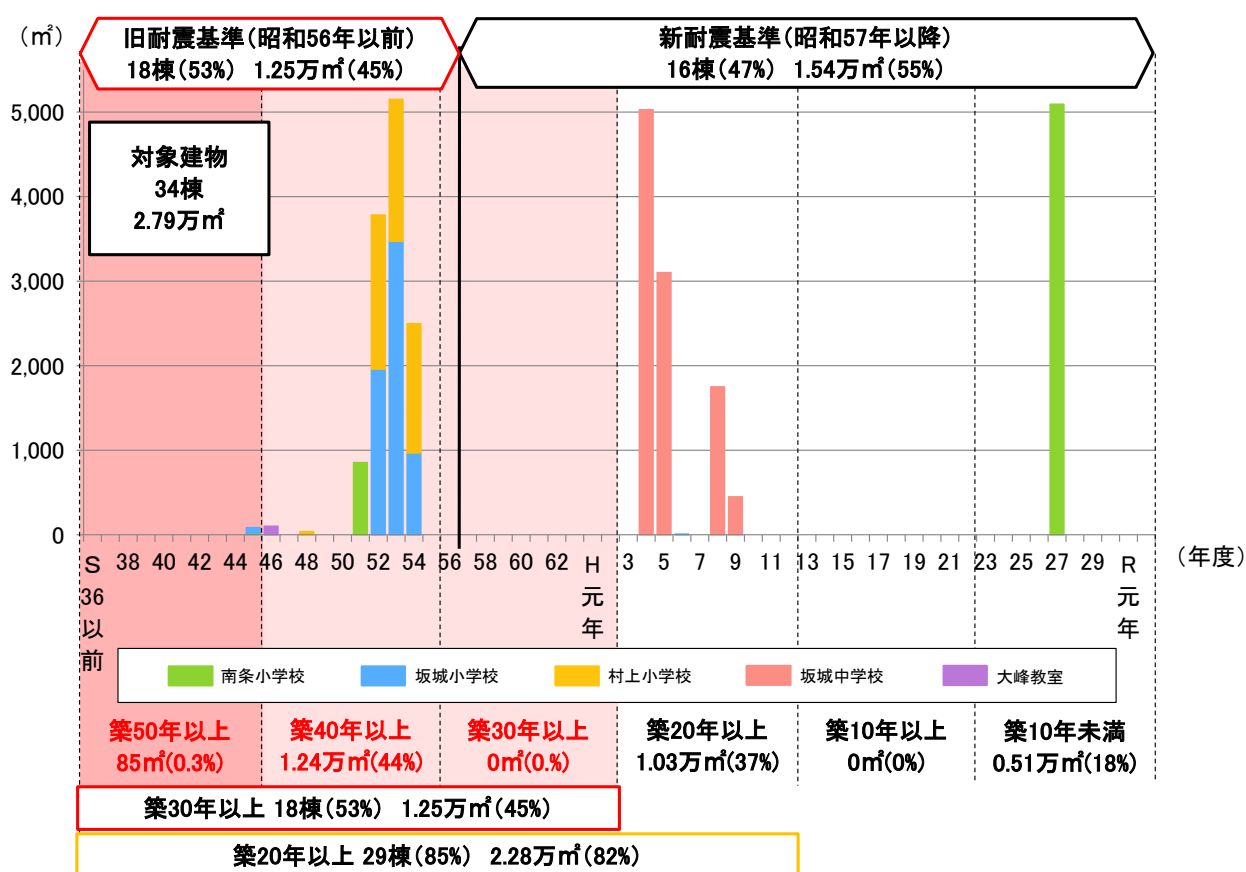
(4) 学校施設保有状況

築年別の整備状況は図表 3-8 に示すとおりで、新耐震基準により建築された建物は 16 棟 (47%)、残りの 18 棟 (53%) は昭和 56 (1981) 年以前の旧耐震基準により建築された建物です。

旧耐震基準により建築された建物のうち、主要な部分である校舎や体育館は耐震安全性の確認がされています。

築年数では 20 年以上の建物が 29 棟と棟数で全体の 85% もあり、今後大規模改修など老朽化への対応、安全性を高める改修工事など、建物の適切な修繕や改修が必要になってきます。

◆図表 3-8 築年別整備状況



（5）学校施設関連経費の推移と修繕履歴

平成27（2015）～令和元（2019）年度の5年間の学校施設関連経費は約29～1,410百万円で、年平均は約359百万円となります。

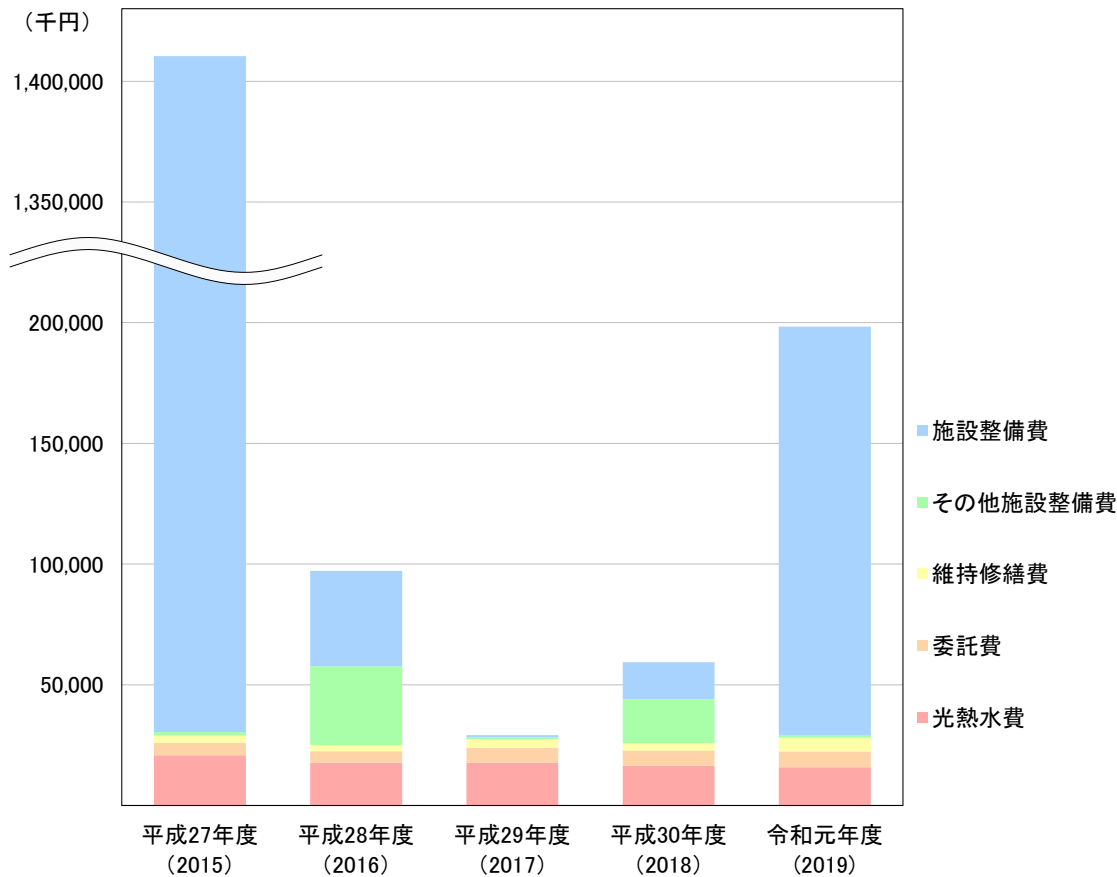
平成27（2015）年度は、南条小学校改築工事により施設整備費が高額となっています。

◆図表 3-9 学校施設関連経費の推移表

(単位:千円)

関 連 経 費	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	直近5年平均
施 設 整 備 費	1,380,029	39,513	968	15,391	169,416	321,063
その他施設整備費	1,503	32,605	780	18,190	837	10,783
維 持 修 繕 費	2,937	2,534	3,477	2,984	5,763	3,539
委 託 費	5,164	4,780	6,269	6,306	6,558	5,815
光 熱 水 費	20,813	17,724	17,723	16,541	15,816	17,724
合 計	1,410,445	97,156	29,217	59,413	198,391	358,924

◆図表 3-10 学校施設関連経費の推移



◆図表 3-11-1 学校施設修繕等履歴調査表

千円単位

No.	施設名	建物名	修繕履歴		直近5年間の実績									
			建設時～平成26年度 (2014)		平成27年度 (2015)		平成28年度 (2016)		平成29年度 (2017)		平成30年度 (2018)		令和元年度 (2019)	
			工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額
1	南条小学校	屋内運動場	H22 耐震補強工事		南条小体育館天井落下防止対策工事設計監理	994	体育館2階カーテンレール交換	80	体育館カーテンレール修理	86			体育館内カーテン修理(2か所)	270
			H21 耐震診断		南条小体育館天井落下防止等対策工事	13,662							体育館内カーテンレール修繕	983
2	南条小学校	南普通教室棟			南条小改築工事監理	14,688							平成30年度坂城町立小中学校空調設備設置工事設計・監理	3,645
					南条小改築工事	1,306,000							平成30年度坂城町立小中学校空調設備設置工事詳細設計・監理	2,460
													平成30年度坂城町立小中学校空調設備設置工事	157,300
3	南条小学校	北普通教室棟			南条小改築工事監理	No.2に含まれる					南条小学校 コンテナ室床貼工事	400	教室黒板塗替え(1-2,4-1,4-2)	88
					南条小改築工事	No.2に含まれる								
4	南条小学校	管理・特別教室棟			南条小改築工事監理	No.2に含まれる			南条小電話配線修理	71			児童支援施設整備工事(低身長の子供用に手すり、スロープなど設置)	250
					南条小改築工事	No.2に含まれる								
5	南条小学校	音楽堂棟			南条小改築工事監理	No.2に含まれる								
					南条小改築工事	No.2に含まれる								
6	南条小学校	外部渡り廊下			南条小改築工事監理	No.2に含まれる								
					南条小改築工事	No.2に含まれる								
7	南条小学校	プール浄化室			プール用ろ過装置電動5方弁モーター取替	243					南条小学校プールろ過機改修工事	15,660	プール給水バルブ取替修繕	109
A	南条小学校	プール			プール防水シート補修(大・小6か所)	86	南小プール排水管改修工事	491			南条小学校 プールシート部分修繕	495		
8	坂城小学校	プール更衣室												
9	坂城小学校	プール浄化室												
10	坂城小学校	屋内運動場	H22 改修工事(耐震補強)	59,640	体育館天井落下防止対策工事設計監理	1,490	バックネット修理、雨樋修繕	216						
			H20 耐震診断		体育館天井落下防止等対策工事	17,280								
11	坂城小学校	南校舎	H22 改修工事(耐震補強)	No.10に含まれる	南校舎洋式トイレ扉、手すり修繕	225					南校舎2階 防火扉修繕	216	南校舎低学年棟パイプシャフト内井水漏水修繕	167

◆図表 3-11-2 学校施設修繕等履歴調査表

No.	施設名	建物名	修繕履歴		直近5年間の実績										千円単位	
			建設時～平成26年度 (2014)		平成27年度 (2015)		平成28年度 (2016)		平成29年度 (2017)		平成30年度 (2018)		令和元年度 (2019)			
			工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額		
11	坂城小学校	南校舎	H20 耐震診断													
12	坂城小学校	昇降口棟	H22 改修工事 (耐震補強)	No.10に 含まれる									坂城小学校昇降 口タイル改修工 事	3,964		
			H20 耐震診断										ガラス入れ替え 児童昇降口廊下 ワイヤー入り	68		
13	坂城小学校	ブレイルーム 棟	H20 耐震診断													
14	坂城小学校	北校舎	H10 改修工事 (耐震補強)		音楽室冷暖房 (吸収式温水発 生機) 修理	76	2階女子トイレ改 修	313	坂城小3階トイレ ブース改修工事	248	坂城小学校・村 上小学校 監視カ メラ設置工事	1,259	平成30年度坂城町 立小中学校空調設 備設置工事設計・監 理	No.21に 含まれる		
			H10 耐震診断		水道凍結修繕	130	トイレブース改修	130	坂城小北校舎3 階女子トイレ改修 工事	313	坂城小学校3階 空調設備設置工 事	1,248	平成30年度坂城町 立小中学校空調設 備設置工事詳細設 計及・監理	No.21に 含まれる		
					北校舎階段手す り修理	48			北校舎2階給湯 器修繕	216	北校舎事務室前 漏水修理	365	平成30年度坂城町 立小中学校空調設 備設置工事	No.21に 含まれる		
					北入口引違戸修 理	95					飲料水用防錆材 注入装置取付・ 減菌機改修	647	坂城・村上小学校空 調設備撤去および 保育園・児童館への 再設置工事	1,139		
					黒板貼り替え(2- 1教室、2-2教室)	99							飲料水用揚水ポン プ逆止弁交換	234		
					FFストープ修繕	60							高圧気中開閉器 取り替え	407		
													北校舎3階 バイ oshャフト内 井水 漏水修繕	319		
													井水用揚水ポン プ取り替え	626		
													職員トイレ点検口 取り替え	121		
15	坂城小学校	プール便所														
B	坂城小学校	プール			プールシート修繕	100	坂小プール改修 工事(大プールろ 過機改修含む)	31,320								
16	村上小学校	プール更衣 室、便所														
17	村上小学校	プール浄化室	H26 ろ過機改修 工事													
18	村上小学校	普通教室棟	H24 改修工事 (耐震補強)	146,567	網戸取り付け	111					村上小学校3階 空調設備設置工 事	1,237	平成30年度坂城町 立小中学校空調設 備設置工事設計・監 理	No.21に 含まれる		
			H21 耐震診断										平成30年度坂城町 立小中学校空調設 備設置工事詳細設 計・監理	No.21に 含まれる		
													平成30年度坂城町 立小中学校空調設 備設置工事	No.21に 含まれる		

◆図表 3-11-3 学校施設修繕等履歴調査表

千円単位

No.	施設名	建物名	修繕履歴		直近5年間の実績									
			建設時～平成26年度 (2014)		平成27年度 (2015)		平成28年度 (2016)		平成29年度 (2017)		平成30年度 (2018)		令和元年度 (2019)	
			工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額
18	村上小学校	普通教室棟											坂城・村上小学校空調設備撤去および保育園・児童館への再設置工事 会議室電灯配線修繕	No.14に 含まれる 57
19	村上小学校	管理棟	H24 改修工事 H21 耐震診断	No.18に 含まれる	昇降口前タイル補修	199					坂城小学校・村上小学校 監視カメラ設置工事	No.14に 含まれる		
20	村上小学校	特別教室棟	H24 改修工事 (耐震補強) H21 耐震診断	No.18に 含まれる			家庭科室 防水コンセント・漏電修理	54						
21	村上小学校	ポンプ室												
22	村上小学校	屋内運動場	H20 改修工事 (耐震補強) H18 耐震診断		体育館天井落下防止対策工事設計監理 体育館天井落下防止対策工事設計監理(監理) 体育館天井落下防止等対策工事	907 389 22,680	村上小学校体育館天井改修工事設計監理 村小体育館天井改修工事	1,296 21,600					村上小学校体育館外壁修繕(災害) 体育館防球ネット修繕	149 182
23	村上小学校	渡り廊下	H24 改修工事 H21 耐震診断	No.18に 含まれる										
C	村上小学校	プール	H24 プール改修工事(FRP)		プール給水管改修工事	176								
24	坂城中学校	普通教室棟			ガラス修理 網入・コーキング トイレつまり修理(1F女子) 3年男子トイレドア修理 坂城中学校トイレ修理(1年男子)	72 59 87 84	2F男子トイレつまり修理 水飲み場凍結破損修繕	50 102			坂城中学校空調設備設置工事 坂城中学校3階手洗い場電気温水器入替工事	999 373	平成30年度坂城町立小中学校空調設備設置工事設計・監理 平成30年度坂城町立小中学校空調設備設置工事詳細設計・監理 平成30年度坂城町立小中学校空調設備設置工事 空調設備撤去・再設置工事(坂城中学校・南条保育園・南条児童館)	No.2に 含まれる No.2に 含まれる No.2に 含まれる 908
25	坂城中学校	特別教室棟			受水槽ダイヤフラム定量ポンプ交換工事 坂城中学校 受電設備改修	167 205	坂中第1音楽室空調設備設置工事	1,070	第2音楽室天井吊り型エアコン設置工事 浄化槽ポンプ交換工事 理科室床改修・既存流し台撤去改修工事	968 459 205	坂城中学校空調設備設置工事	No.24に 含まれる	浄化槽チェックプレート交換工事 浄化槽放流ポンプ修繕	227 241

◆図表 3-11-4 学校施設修繕等履歴調査表

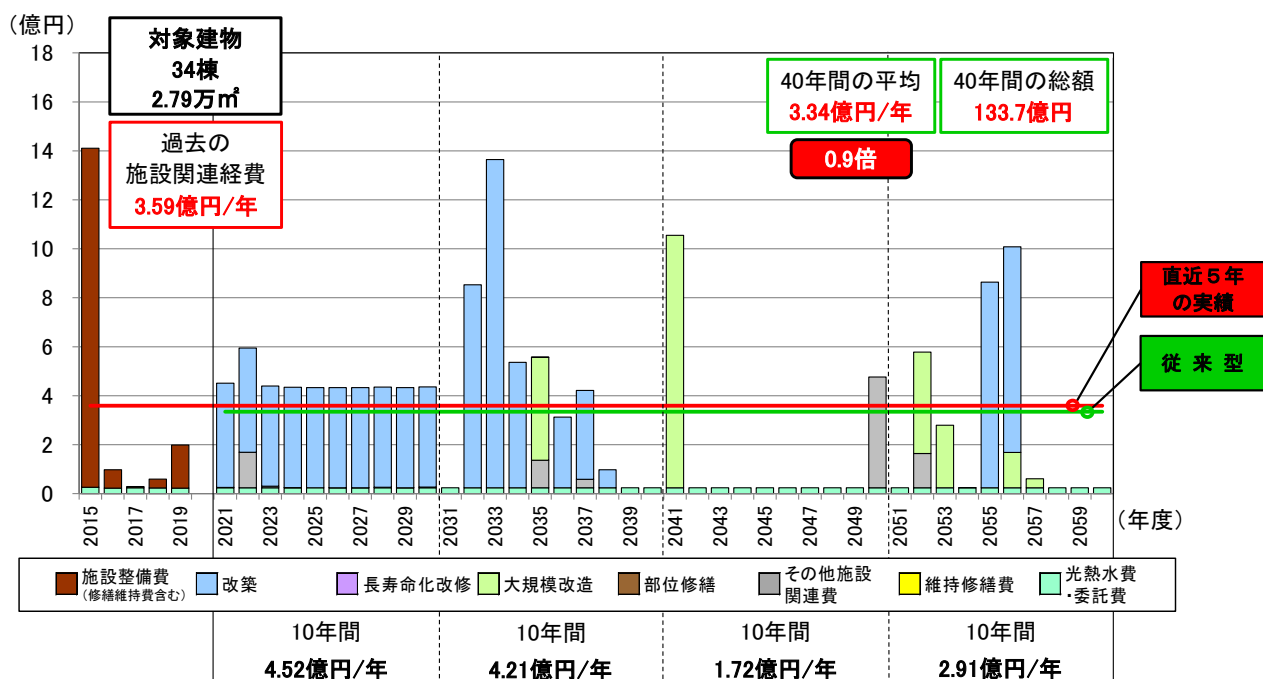
千円単位														
No.	施設名	建物名	修繕履歴		直近5年間の実績									
			建設時～平成26年度 (2014)		平成27年度 (2015)		平成28年度 (2016)		平成29年度 (2017)		平成30年度 (2018)		令和元年度 (2019)	
			工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額	工事内容	金額
26	坂城中学校	昇降口・管理・特別教室棟			坂城中学校空調設備設置工事(図書室)	1,939	サッシ修繕(2-5、PC教室、美術室)	99	電気温水器入替工事	373	坂城中学校 監視カメラ設置工事	900	漏水修理	277
					坂城中学校防火シャッター修理	400	事務室電気温水器改修	61	スチールドア 扉交換修繕工事	216	外灯ランプ交換、蛍光灯修繕、床下ケーブル処理	64	会議室窓修理	79
					坂城中学校漏水修繕	453			職員玄関扉修理	70	エアコン出張修理(ガス充填)	96		
					床暖房設備制御盤修理	69			カリヨン(鐘)制御盤修理	285	坂城中学校空調設備設置工事	No.24に含まれる		
									職員室温水器修繕	60				
27	坂城中学校	屋内運動場					体育館非構造部材等落下防止工事設計監理	1,490	体育館カーテンレール修繕工事	69			坂城中学校 体育館入口天井雨漏れ修繕	63
							坂中体育館非構造部材等落下防止工事	11,556						
							坂中体育館バスケットゴール撤去工事	1,220						
							坂中体育館バスケットゴール設置工事	1,280						
							坂中体育館屋根防水工事	890						
28	坂城中学校	陶芸室												
29	坂城中学校	ゴミ置き場												
30	坂城中学校	部室												
31	坂城中学校	部室												
32	坂城中学校	グラウンド用具庫												
33	坂城中学校	プール専用付属室					プール凍結防止用ポンプ取替修理	91					プール緊急給水システム ポンプ修理	288
D	坂城中学校	プール											坂城中学校プールシール打ち直し修繕	146
34	大峰教室	中間教室											大峰教室 屋根瓦修繕	297

3 今後の維持・更新コスト（従来型）

学校施設において、建築後 40 年前後（従来型）で改築を行った場合、今後 40 年間のコストは 133.7 億円（3.34 億円/年）と試算されます。これは、直近 5 年間の施設関連経費 3.59 億円/年の 0.9 倍になります。

今後、長寿命化によるトータルコストの縮減と予算の平準化を図り計画的に進めていく必要があります。

◆図表 3-12 今後の維持・更新コスト（従来型）



コスト算出条件（従来型）

・物価変動率、落札率は考慮しない。

基準年度: 令和 2(2020) 年度(試算期間: 基準年の翌年度から 40 年間)

改 築: 更新周期 40 年、工事期間 2 年

実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施

改築単価 330,000 円/㎡

(総務省「公共施設等更新費用試算ソフト」分類別更新単価 学校教育系施設)

改築は現在の延床面積と同じとする。

大規模改修: 実施年数 20 年周期、工事期間 1 年

プ ール: 更新周期 30 年 大規模改修 15 年

改築単価 330,000 円/㎡(他自治体学校プール参考)

大規模改修単価 改築の 25% 「その他施設関連費」に計上

遊 具: 更新、維持管理計画は 10 年間とし、費用は「その他施設関連費」に計上

(坂城町学校施設長寿命化計画(遊具編) 参照)

4 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体の健全性の把握と評価方法

長寿命化計画策定段階においては、今後の維持・更新コストの試算における区分を「試算上の区分」として設定しています。構造や耐震基準、履歴調査、現地調査等の結果を基に、長寿命化改修に適さない可能性のある建物を簡易に選別しています。（図表 3-13）

工事実施段階においては、躯体の詳細な調査結果（コンクリート圧縮強度等）、及び施設の重要性や利用状況等の観点から総合的に検討した上で「長寿命」または「改築」を最終的に判断していくことになります。

◆図表 3-13 試算上の区分

構造	耐震基準	耐震補強等	試算上の区分	備考
RC SRC S CB	新	—	長寿命	
	旧	済み	長寿命	※1
		未	要調査、改築	耐震補強又は使用不可
W	新	—	改築	
	旧	—		

※1 RC造の場合は、コンクリート圧縮強度 13.5N/mm²以下のもの、S造の場合は、おおむね 40 年以上で腐食や劣化の進行が著しいもの、またはこれらの状況が不明な場合は「要調査」となる。

■構造

- RC：鉄筋コンクリート造
- SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造
- S：鉄骨造
- CB：コンクリートブロック造
- W：木造（軽量鉄骨造、小規模建物等含む）

■耐震基準

- 新耐震基準：昭和 56（1981）年 6 月 1 日以降の建築確認において適用されている基準をいう。
- 旧耐震基準：その前日まで適用されていた基準をいう。

(2) 劣化状況の評価方法

建物の劣化状況の調査結果を分析・評価し、長寿命化に必要なコストと保全の優先順位を設定するため、以下のように評価を行い、総合劣化度を算出しました。

① 評価基準

評価基準をA～Dの4段階としました。(図表 3-14)

◆図表 3-14 評価基準

評価	劣化状況の評価基準	評価点
A評価	概ね良好	10 点
B評価	局所、部分的に劣化が見られるが、安全上、機能上、問題なし	40 点
C評価	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上、低下の兆しが見られる	70 点
D評価	随所、広範囲に著しい劣化が見られ、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある	100 点

② 部位の重要度係数

部位により建物の安全性もしくは機能性に及ぼす影響が異なることから、財団法人建築保全センター発行の「ライフサイクルコストデータベース」の分類を参考とし、部位の重要度係数を以下の3段階としました。(図表 3-15)

◆図表 3-15 部位の重要度係数

部位の重要度の判断基準		重要度係数
大	特に安全性に関わる部位(躯体、屋上、外壁)	1.00
中	計画保全が望ましい部位(外部開口部、電気、機械)	0.50
小	事後保全で良い部位(内部、給排水、その他外部ほか)	0.25

③ 現況劣化度

$$\text{現況劣化度} = \frac{\text{総和 (各部の劣化状況評価点} \times \text{部位の重要度係数)}}{\text{評価の対象部位数}}$$

④ 総合劣化度

$$\text{総合劣化度} = \text{現況劣化度} + \text{築年数}$$

※但し、当該建物に大規模改修履歴がある場合は、15点減じています。

点数が大きいほど、建物の劣化が進んでいることになります。

⑤ 総合劣化度の推測方法

劣化状況調査を実施しない建物については、構造別の耐用年数においてD評価になると仮定し、築年数により劣化度を推測して、総合劣化度を算出しました。推測した総合劣化度は、()書きで表示しています。

（3）調査方法

劣化状況の現地調査は、まず基本情報の整理、修繕履歴調査を行ったうえで、現地において施設の部位ごとに専門家（一級建築士）の目視による点検を行い、調査結果を劣化調査表に記録するとともに、現況写真を撮影しました。

◆図表 3-16 劣化調査表（一部抜粋）

通し番号	24	施設名	坂城中学校	学校番号	4901	調査日	令和2年8月5日
建物名	普通教室棟	記入者	〇〇 〇〇	棟番号	038	平成4 年度(1992 年度)	
構造種別	RC	延床面積	3,376 m ²	階数	地上 3 階 地下 階		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	部分 小 規 模 的 模 範	広 範 疇 的 模 範	特記事項	評価
		年度	工事内容					
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水			☒ 汚れ	●	○	破風: 仕上材剥がれ	B
	☐ アスファルト露出防水			☐ 変退色	○	○	樋: 仕上材剥がれ(多数)、変退色(多数)、錆	
	☐ シート防水、塗膜防水			☐ 仕上材剥がれ	○	○		
	☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板)			☐ 錆・錆汁	○	○		
	☒ 勾配屋根(スレート(瓦葺))			☐ 変形・損傷・破損等	○	○	ベランダ裏: 漏水痕(多数)、エフロレッセンス、ひび割れ(複数)	
	☐ その他の屋根()			☐ 漏水痕	○	○		
				☐ その他 ()	○	○	軒天: 破損	
2 外壁	☐ モルタル等の塗仕上げ			☒ 汚れ	●	○	外床: ひび割れ(多数)	B
	☐ タイル張り、石張り			☒ 変退色	●	○	基礎: 損傷、ひび割れ(複数)、汚れ	
	☐ 金属系パネル			☒ 仕上材剥がれ	●	○	外階段床: タイル破損	
	☐ コンクリート系パネル(ALC等)			☒ ひび割れ	○	●	建具: 損傷(複数)、錆、変退色	
	☒ その他の外壁 (RC+吹付)			☐ モルタル・タイル等の浮き	○	○	建具廻りシーリング: 割れ、破損	
	☒ アルミ製サッシ			☐ 錆・錆汁	○	○	ベランダ床: ひび割れ、シーリング破損、汚れ、排水詰まり	
	☐ 銅製サッシ			☒ 変形・損傷・破損等	●	○		
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☒ 漏水痕	●	○		
				☒ その他 (フロレッセンス)	●	○		

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井 (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修		指摘事項 床: 損傷、摩耗、きしみ(複数)、隙間、変退色	B
	☐ エコ改修		壁: ひび割れ(多数)、損傷、破損(複数)、エフロレッセンス、	
	☐ トイレ改修		仕上材剥がれ(多数)、タイル損傷	
	☐ 法令適合		天井: 汚れ、破損(複数) 柱: ひび割れ	
	☐ 校内LAN		建具: 破損(複数)、開閉不良、金物破損、変形	
	☐ 空調設置		照明器具: 錆 流し: 家具損傷	
	☐ 障害児等対策	R元/H30	空調設備設置工事	
	☐ 防犯対策	H28	2F男子トイレつまり修理/水飲み場凍結破損修繕	
	☐ 構造体の耐震対策	H27	トイレ修理(1年男子)/トイレつまり修理(1F女子)	
	☐ 非構造部材の耐震対策	H27	3年男子トイレ ドア修理	
4 電気設備	☐ 分電盤改修		指摘事項 電気設備: 破損	B
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検	H30	3階手洗い場電気温水器入替工事	
	☐ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	☐ 給水配管改修		指摘事項 小便器: 破損(複数)、故障	B
	☐ 排水配管改修	R元	浄化槽チェックプレート交換工事/浄化槽放流ポンプ修繕	
	☐ 消防設備の点検	H29	浄化槽ポンプ交換工事	
	☐ その他、機械設備改修工事	H27	防火シャッター修理	

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

ヒアリング: トイレの便器が古い。トイレ等の悪臭がひどい。

外部建具(アルミサッシ)の開閉不具合、施設不具合(容易に外部より侵入が可能)、鍵が特殊なため修理が不可能。

特記事項: 防犯上の危険性が高い。

【12条点検】H30.2.14 要是正あり

【外部建具廻りのコンクリート躯体の損傷】[バルコニー立上り部の防水モルタルの剥離損傷、防水層の露出][AD,AWの開閉機能不良][防火戸の開閉機能不良][内部コンクリート壁にクラック発生][防火シャッターの危害防止装置の不設置]

現況劣化度
26

◆図表 3-17-1 現況写真（一部抜粋）

写真台帳

24.坂城中学校



建物名	普通教室棟	外観：現況
写真No.	1	
部位	外観	
評価		



建物名	普通教室棟	外観：現況
写真No.	2	
部位	外観	
評価		



建物名	普通教室棟	外観：現況
写真No.	3	
部位	外観	
評価		



建物名	普通教室棟	外観：現況
写真No.	4	
部位	外観	
評価		



建物名	普通教室棟	外観：現況
写真No.	5	
部位	外観	
評価		



建物名	普通教室棟	外観：現況
写真No.	6	
部位	外観	
評価		

◆図表 3-17-2 現況写真（一部抜粋）

写 真 台 帳			24.坂城中学校
	建物名	普通教室棟	2年1組 床：隙間
	写真No.	63	
	部位	内部仕上	
	評価	B	
	建物名	普通教室棟	2年1組 床：摩耗
	写真No.	64	
	部位	内部仕上	
	評価	B	
	建物名	普通教室棟	2年5組 天井：現況
	写真No.	65	
	部位	内部仕上	
	評価	B	
	建物名	普通教室棟	3階階段 壁：ひび割れ
	写真No.	66	
	部位	内部仕上	
	評価	B	
	建物名	普通教室棟	3階廊下：現況
	写真No.	67	
	部位	内部仕上	
	評価	B	
	建物名	普通教室棟	3階廊下 壁：ひび割れ
	写真No.	68	
	部位	内部仕上	
	評価	B	

(4) 劣化状況調査結果

学校施設の劣化状況調査結果を基に分析・評価を行った結果は、図表 3-18 建物状況一覧表のとおりです。

「早急に対応する必要がある」とされるD評価判定のある建物は、以下の4棟でした。

- ・村上小学校 プール更衣室、便所：内部仕上、電気設備、機械設備
- ・村上小学校 プール浄化室：屋根・屋上、外壁
- ・村上小学校 ポンプ室：屋根・屋上
- ・坂城中学校 グラウンド用具庫：屋根・屋上

また、坂城小学校と村上小学校は「広範囲に劣化」とされるC評価判定が多くみられます。

◆図表 3-18-1 建物状況一覧表

建物基本情報												構造躯体の健全性						劣化状況評価						総合劣化度	大規模改修年度等	
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	資産番号	用途区分		構造	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備			現況劣化度
						学校種別	建物用途			西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm)	試算上の区分 (※1)								
1	1902	南条小学校	屋内運動場	019	4085	小学校	体育館	S	854	1976	S51	44	旧	済	済	H21		長寿命	B	C	C	B	B	34	63	H22
2	1902	南条小学校	南普通教室棟	023	17299	小学校	校舎	RC	955	2015	H27	5	新					長寿命	A	A	A	A	A	7	12	
3	1902	南条小学校	北普通教室棟	22	17300	小学校	校舎	RC	1,611	2015	H27	5	新					長寿命	A	A	A	A	A	7	12	
4	1902	南条小学校	管理・特別教室棟	024	17301	小学校	校舎	RC	1,753	2015	H27	5	新					長寿命	A	A	A	A	A	7	12	
5	1902	南条小学校	音楽堂棟	025-1	17302	小学校	校舎	RC	710	2015	H27	5	新					長寿命	A	A	A	A	A	7	12	
6	1902	南条小学校	外部渡り廊下	025-2	17303	小学校	その他	S	64	2015	H27	5	新					長寿命	A	A	B	A	-	11	16	
7		南条小学校	プール浄化室			小学校	その他	W	13	1970	S45	50	旧					改築	-	-	-	-	-	-	(115)	
8		坂城小学校	プール更衣室			小学校	その他	W	65	1970	S45	50	旧					改築	-	-	-	-	-	-	(115)	
9	1901	坂城小学校	プール浄化室	015	4092	小学校	その他	CB	6	1970	S45	50	旧					要調査	C	C	C	B	B	40	90	
10	1901	坂城小学校	屋内運動場	019	4093	小学校	体育館	S	968	1979	S54	41	旧	済	済	H20		長寿命	B	C	C	B	C	37	63	H22
11	1901	坂城小学校	南校舎	017-1	4094	小学校	校舎	RC	1,088	1977	S52	43	旧	済	済	H20		長寿命	C	C	C	C	C	46	74	H22
12	1901	坂城小学校	昇降口棟	017-2	4095	小学校	校舎	RC	697	1977	S52	43	旧	済	済	H20		長寿命	C	C	C	C	C	46	74	H22
13	1901	坂城小学校	プレイルーム棟	017-3	4096	小学校	校舎	RC	175	1977	S52	43	旧	済	-	H20		長寿命	B	B	B	B	-	29	72	
14	1901	坂城小学校	北校舎	018-1、018-2	4097	小学校	校舎	RC	3,472	1978	S53	42	旧	済	済	H10		長寿命	C	C	C	C	C	46	73	H10
15	1901	坂城小学校	プール便所	021	4098	小学校	その他	W	8	1994	H6	26	新					改築	B	B	B	B	B	26	52	

◆図表 3-18-2 建物状況一覧表

築50年以上

築30年以上

基準：2020

長寿命:長寿命化改修対象

※1 要調査:耐震診断・耐震補強対象

改築:建替え対象

A:概ね良好

B:部分的に劣化

C:広範囲に劣化

D:早急に対応する必要がある

建物基本情報												構造躯体の健全性						劣化状況評価							大規模改修年度等	
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	資産番号	用途区分		構造	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	現況劣化度	総合劣化度	
						学校種別	建物用途			西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分(※1)								
16		村上小学校	プール更衣室、便所			小学校	その他	CB	30	1973	S48	47	旧					要調査	C	C	D	D	D	53	100	
17	1903	村上小学校	プール浄化室	017	4100	小学校	その他	CB	6	1973	S48	47	旧					要調査	D	D	-	-	-	58	105	
18	1903	村上小学校	普通教室棟	018	4101	小学校	校舎	RC	1,822	1977	S52	43	旧	済	済	H21		長寿命	B	B	B	B	B	26	54	H24
19	1903	村上小学校	管理棟	019	4102	小学校	校舎	RC	413	1979	S54	41	旧	済	-	H21		長寿命	B	B	C	B	B	28	54	H24
20	1903	村上小学校	特別教室棟	020	4103	小学校	校舎	RC	1,666	1978	S53	42	旧	済	済	H21		長寿命	B	B	C	B	B	28	55	H24
21	1903	村上小学校	ポンプ室	021	4104	小学校	その他	CB	12	1978	S53	42	旧					要調査	D	B	C	B	B	40	82	
22	1903	村上小学校	屋内運動場	022-1	4105	小学校	体育館	S	1,016	1979	S54	41	旧	済	済	H18		長寿命	C	B	C	B	B	34	60	H20
23	1903	村上小学校	渡り廊下	022-2	4106	小学校	その他	S	101	1979	S54	41	旧	済	-	H21		長寿命	B	C	C	B	-	37	78	
24	4901	坂城中学校	普通教室棟	038	4107	中学校	校舎	RC	3,376	1992	H4	28	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	54	
25	4901	坂城中学校	特別教室棟	041	4108	中学校	校舎	RC	1,652	1992	H4	28	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	54	
26	4901	坂城中学校	昇降口・管理・特別教室棟	042	4109	中学校	校舎	RC	3,101	1993	H5	27	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	53	
27	4901	坂城中学校	屋内運動場	046-1、046-2、047	4110	中学校	体育館	RC	1,750	1996	H8	24	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	50	
28	4901	坂城中学校	陶芸室	048	4111	中学校	その他	RC	13	1997	H9	23	新					長寿命	B	B	-	-	-	26	49	
29	4901	坂城中学校	ゴミ置き場	049	4112	中学校	その他	RC	56	1997	H9	23	新					長寿命	B	B	B	C	B	29	52	
30	4901	坂城中学校	部室	050	4113	中学校	その他	W	88	1997	H9	23	新					改築	B	C	B	B	B	32	55	
31	4901	坂城中学校	部室	051	4114	中学校	その他	W	105	1997	H9	23	新					改築	B	C	B	B	B	32	55	
32	4901	坂城中学校	グラウンド用具庫	052	4115	中学校	その他	RC	98	1997	H9	23	新					長寿命	D	B	C	-	B	40	63	
33	4901	坂城中学校	プール専用付属室	053	4116	中学校	その他	RC	89	1997	H9	23	新					長寿命	B	B	B	B	B	26	49	
34	4901	大峰教室	中間教室	029	4171	その他	その他	W	101	1971	S46	49	旧					改築	C	C	C	B	B	40	89	

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

1 学校施設の規模・配置計画等の方針

本町の学校施設は、小学校3校、中学校1校、中間教室（適応指導教室）としての位置づけの大峰教室があります。

本町では、県が推進する「信州型コミュニティスクール」を導入し、平成27（2015）年度から各校でコーディネーターを配置して取り組みを進めています。

施設、設備面では、主要な部分である校舎や体育館の耐震改修工事は完了しており、それに伴う大規模改修も行われました。

このようなことから、小学校3校、中学校1校は、当面現状を維持していきます。また、大峰教室については、今後、他の公共施設の改修に合わせ整備し、取壊しを予定しています。

しかしながら、将来的には、全体的な人口減少及び児童生徒数の減少傾向を踏まえ、学校施設の規模や適正配置については、地域の実情に応じて、余裕教室など空きスペースの有効活用、または不要となった一部校舎の用途廃止や減築、他の公共施設との複合化、共用化など様々な方向の検討を行っていくものとします。

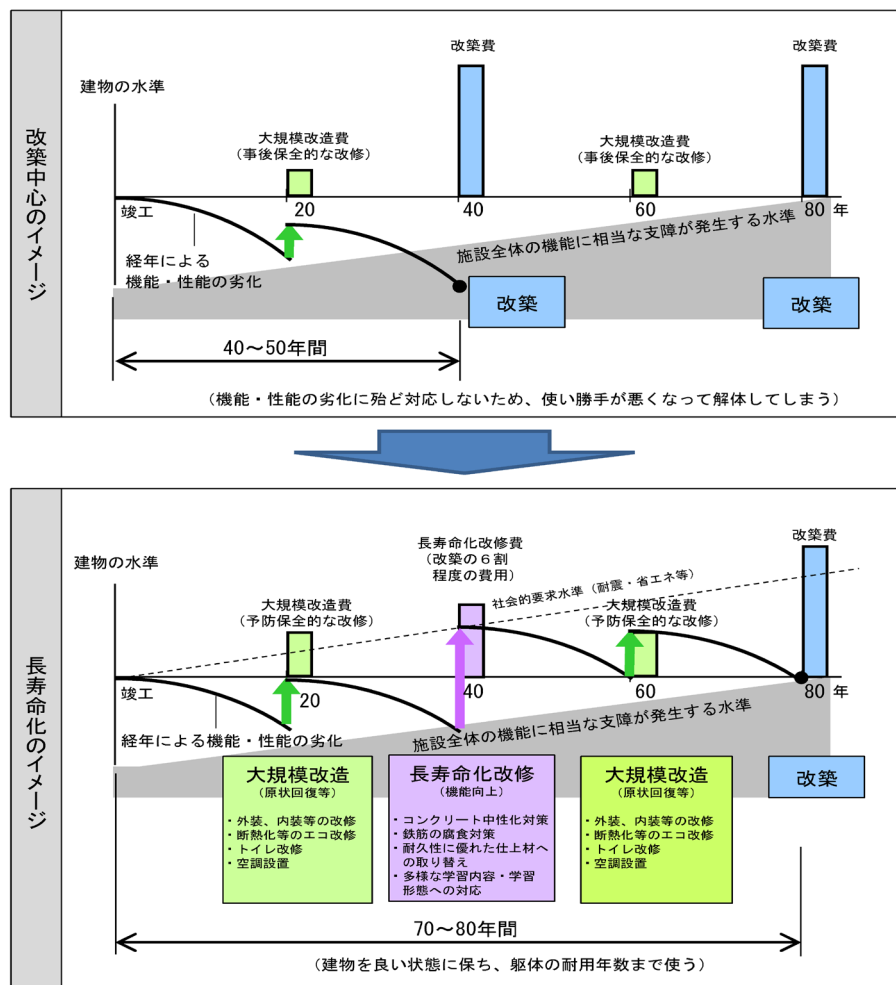
2 長寿命化計画の基本的な方針

学校施設を常に健全な状態に保ち、安全安心で快適な教育環境を維持するためには、施設の定期的な点検の実施や老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕を行うことで、従来の事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができるため、「学校施設の長寿命化」を図る上で「計画保全」の考え方が重要になります。

学校施設整備について、改築を中心もしくは事後保全の維持管理（改築年数 40 年）から、築 20 年程度経過後に機能回復のための予防保全的な改修等、中間期（40 年など）に長寿命化改修、その後も建物の部位ごとの更新周期を勘案し、約 20 年スパンで予防保全的な改修を計画的に行うなど、計画保全による建物の長寿命化（改築年数 80 年）に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。

なお、長寿命化または改築工事は、文部科学省の各種補助制度を可能な限り活用して、町の財政負担の軽減を図るとともに、現在から将来の学校の使われ方、総合管理計画の考え方を考慮して効率的・効果的な工事を行います。

◆図表 4-1 改築中心から長寿命化への転換のイメージ
 （「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」平成 27（2015）年 4 月文部科学省）



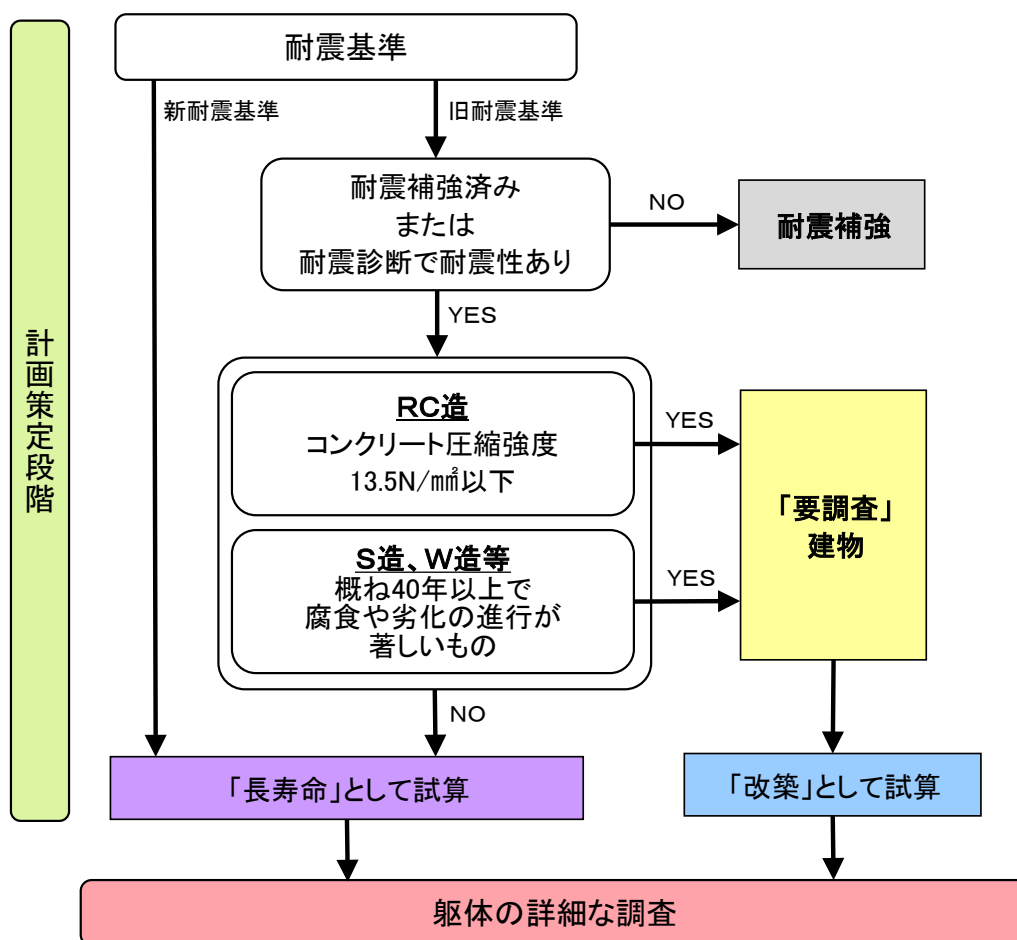
3 改修等の基本的な方針

文部科学省では、学校施設の長寿命化のメリットとして、次の3つを掲げています。

- ① 改築と比較して構造体（柱や梁）の工事が大幅に減少するため、工事費用の縮減や工期の短縮を行うことができる。
- ② 長寿命化改修への転換により、限られた予算でより多くの施設の安全性を確保しつつ、機能の向上を図ることができ、子どもたちにとって快適で居心地の良い学習・生活の場を確保することができる。
- ③ 改築と比べて廃棄物排出量や二酸化炭素発生量が減少し、大幅に環境負荷が低減する。

本町において、詳細診断の結果、長寿命化改修が可能な学校施設は長寿命化することとしますが、実際の長寿命化・改築等の判断は、児童生徒数の将来見通し、詳細診断の結果、財政状況や各種補助制度を総合的に勘案して決定するものとします。

◆図表 4-2 長寿命化判定フロー

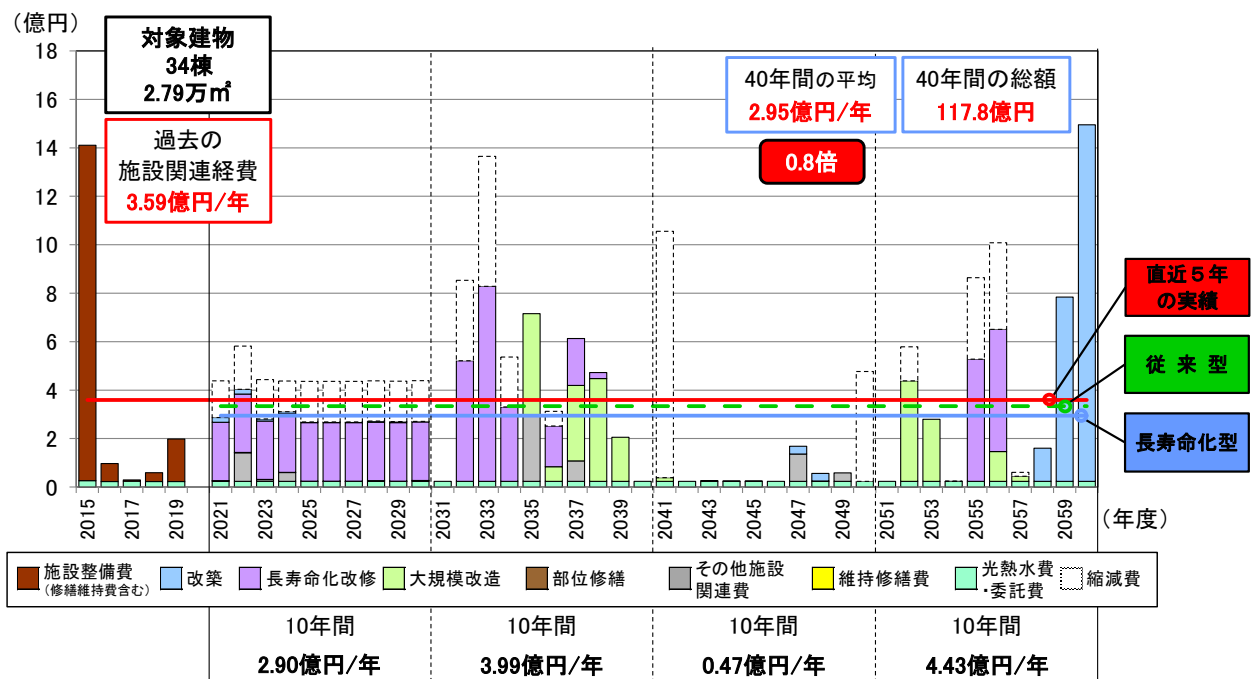


4 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

今後、学校施設の改築による費用集中を避け、将来の費用を縮減していくため、長寿命化により築後 80 年間使用できるようにした場合、今後 40 年間の維持・更新コストは総額 117.8 億円（2.95 億円/年）となり、従来の改築中心の場合（図表 3-12）の 133.7 億円（3.34 億円/年）より総額 15.9 億円（0.39 億円/年）、約 12%の縮減となります。

しかし、将来の人口減少による財源不足、施設の老朽化等を考えると、長寿命化だけでは厳しい財政状況になると考えられます。今後、さらに最適な手法で実行可能な計画となるよう検討を行います。

◆図表 4-3 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）



コスト算出条件(長寿命化型)

基準年度:令和 2(2020)年度(試算期間:基準年の翌年度から 40 年間)

改 築:更新周期 改築、要調査 50 年 長寿命 80 年
工事期間 2 年 実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施

大規模改造:実施年数 20 年周期
(ただし、改築、長寿命化改修の前後 10 年間に重なる場合は実施しない)

部 位 修 繕:D評価 今後 5 年以内に部位修繕 C評価 今後 10 年以内に部位修繕を実施
(ただし、改築、長寿命化改修、大規模改造を今後 10 年以内に実施する場合を除く)
A評価 今後 10 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

単 価 設 定:改築単価 総務省 公共施設等更新費用試算ソフト「分類別更新単価」
長寿命化改修 改築単価の 60% 大規模改造 改築単価の 25%(体育館は 22%)

プ ー ル:更新周期 改築 50 年 長寿命化改修 25 年 大規模改修 12 年
改築単価 330,000 円/㎡(他自治体プール参考)
長寿命化改修 改築単価の 60% 大規模改修 改築単価の 25%
「その他施設関連費」に計上

遊 具:更新、維持管理計画は 10 年間とし、費用は「その他施設関連費」に計上
(坂城町学校施設長寿命化計画(遊具編)参照)

5 目標耐用年数の設定

目標耐用年数は、日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」が提案する算定式や施設使用の限界年数の考え方を参考に、図表 4-4 のとおり設定します。

なお、学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（平成 27（2015）年 4 月文部科学省）では、「適正な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には 70～80 年程度、さらに、技術的には 100 年以上持たせるような長寿命化も可能である。」とされています。

◆図表 4-4 構造に応じた目標耐用年数

目標耐用年数	
鉄筋コンクリート造、鉄骨造、ブロック造	木造（小規模建物）
80年	50年

（一社）日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」による主な建物の目標耐用年数

◆図表 4-5 建築全体の望ましい目標耐用年数の級

用途	構造	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
				重量鉄骨		軽量鉄骨		
		高品質の場合	普通品質の場合	高品質の場合	普通品質の場合			
学校等		Y。100以上	Y。60以上	Y。100以上	Y。60以上	Y。40以上	Y。60以上	Y。60以上
住宅・ 事務所等		Y。100以上	Y。60以上	Y。100以上	Y。60以上	Y。40以上	Y。60以上	Y。40以上
店舗・旅館 ・ホテル		Y。100以上	Y。60以上	Y。100以上	Y。60以上	Y。40以上	Y。60以上	Y。40以上
工 場		Y。40以上	Y。25以上	Y。40以上	Y。25以上	Y。25以上	Y。25以上	Y。25以上

（一社）日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」より

◆図表 4-6 目標耐用年数の級の区分の例

級(Y。)	目標耐用年数		
	代表値	範囲	下限値
Y。150	150年	120～200年	120年
Y。100	100年	80～120年	80年
Y。60	60年	50～80年	50年
Y。40	40年	30～50年	30年
Y。25	25年	20～30年	20年
Y。15	15年	12～20年	12年
Y。10	10年	8～12年	8年
Y。6	6年	5～8年	5年
Y。3	3年	2～5年	2年

（一社）日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」より

6 更新周期

建物を構成する主要な部位や材質に応じた耐用年数の目安があります。建築物の長寿命化を図るため、更新周期（年数）は、個別の仕様や材料により異なるため、下表に示すとおり部位に応じて一定の幅を持たせる方針とします。

緊急性や重要性等を考慮し、施設本体の長寿命化修繕改修を優先的に実施します。

また、比較的大規模な修繕工事においては、その工事と関連した部位を同時に措置することが合理的となり、修繕費用の低減を図ることが可能となります。

◆図表 4-7 改修周期と改修内容の例

築年数	事業区分	工事内容
0 年	新築(改築)	建物の新設
20 年	大規模改造(原状回復等)	内外装・設備の更新
40～45 年	長寿命化改修(機能向上)	内外装・設備の更新 必要に応じて、躯体の改質工事
60～65 年	大規模改造(原状回復等)	内外装・設備の更新

◆図表 4-8 主な改修工事と関連部位・機器等の例

部位・設備等	主な改修工事	同時に措置した方が良い 部位・設備等の例	更新・改修 周期の目安
外 壁	仕上げ改修(塗装、吹付、タイル補修等)	シーリング、外部建具、笠木、樋、断熱材	15～30 年 仕上げ材による
	クラック補修、浮き補修	シーリング、外部建具、笠木	10～15 年
	建具改修(サッシ、カーテンウォール等)	シーリング	約 40 年
屋 根	防水改修	排水溝(ルーフドレン)、笠木、屋上手すり、設備架台、断熱材	20～30 年
電 気 設 備	受変電設備改修	分電盤、変圧機、コンデンサ、幹線	25～30 年
空 調 設 備	冷暖房設備(ファンコイル、空調機)改修	ポンプ、冷却塔、配管等、屋上防水	15～20 年
	熱源改修	配管等	15～20 年
給排水衛生設備	給排水設備改修	ポンプ、受水槽配管(冷温水管)等	15～30 年

公共建築の部位・設備の特性等を踏まえた中長期修繕計画策定及び運用のためのマニュアル(平成17年6月)より抜粋

※ その他、ストックに対する主な工事として、耐震性能向上、環境性能向上、バリアフリー化等を目的とした改修を行う場合も想定されますが、劣化や機能停止への対処として行われる性質のものではないため、本整理の対象外としました。ただし、施設の実情等に応じて、これらの改修工事と修繕を同時に行うことも検討する必要があります。

7 今後の方向性の定義

ソフト（建物の機能）とハード（建物）の両面から、学校施設について今後の方向性を検討し、下表のとおり整理します。

◆図表 4-9 今後の方向性の定義表

区 分	方 向 性	内 容
機能	継続	機能を現状のまま継続する
	集約	同一用途の施設を一つの建物に集める
	統合	別々の用途を有する施設を一つの建物に集める
	移転	集約・統合・建物移転により、機能に移転させる
	転用	現用途を廃止し、他用途への転用を行う
	廃止	施設（建物）の現用途の廃止を行う
	継続検討	将来の施設の整備方針を継続検討する
建物	継続	建物を現状のまま継続する
	譲渡	建物を「無償」または「有償」で民間に譲渡する
	貸付	建物を「無償」または「有償」で民間に貸付ける
	改築	建物を建替える
	集約	同一用途の施設を一つの建物に集める
	複合	別々の用途の施設を一つの建物に集める
	移転	移転して建替える
	減築	建物を改築する際に床面積を減らすこと
	取壊し	用途廃止した施設の建物を解体する
	継続検討	将来の建物の整備方針を継続検討する

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

1 改修等の整備水準

文部科学省は「学校施設の長寿命化計画策定の手引」において、「改修（特に長寿命化改修）の実施に当たっては、単に数十年前の建築時の状態に戻すのではなく、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高めるとともに、省エネルギー化や多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的な要請に応じるための改修を行うことが重要である。」としています。

長寿命化改修において配慮すべき性能として、安全安心に学べる教育環境とし、少子高齢化や小・中学校の地域としての役割（避難所、地域コミュニティの場等）を踏まえ、学校生活の場として必要な環境の確保・維持や、教育のICT化、省エネルギー化、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、防災・防犯等の社会的要求に対応した機能付加など、ニーズや費用等を勘案しながら整備を進めていきます。

改修等の整備水準検討表を図表 5-1 に示します。

◆図表 5-1-1 改修等の整備水準基準検討表（小学校）

改修案 (内部改修と同時に実施し機能向上を図る改修)						
部位		改修メニュー(整備レベル)			既存の整備レベル	
		高	低			
外部仕上げ	屋根・屋上	ステンレス製屋根 葺替え	ガルバリウム鋼板製 屋根葺替え	カラー鉄板屋根 葺替え	屋根塗装	ガルバリウム鋼板、 カラー鉄板、 アスファルト防水
	外壁	外断熱パネル	外壁塗装 (光触媒フッ素樹脂塗材) 内断熱	外壁塗装 (防水型複層塗材)	断熱なし	コンクリート打放+吹付、 一部ガルバリウム鋼板
	外部開口部 (校舎)	サッシ交換 (Low-e複層ガラス)	サッシ交換 (カバー・はつり工法) (複層ガラス等)	既存サッシの強化ガラス交換		アルミサッシ (複層ガラス、単板ガラス)
	外部開口部 (体育館)	サッシ交換 (Low-e複層ガラス)	サッシ交換 (カバー・はつり工法) (複層ガラス等)	既存サッシの強化ガラス交換		アルミサッシ(単板ガラス)、 スチールサッシ(単板ガラス)
内部仕上げ	内部仕上げ (教室等)	内装の全面撤去・更新 (木質化)	床、壁、天井撤去・更新 黒板・ロッカー等更新	床補修 壁、天井塗替え	黒板更新	床:フローリング 壁:板張、塗装、ビニールクロス 天井:ボード
	トイレ	内装の全面撤去・更新 ドライ化 洗浄機能付便座	内装の全面撤去・更新 洗浄機能付便座 (一部)	床補修 壁、天井塗替え	洋式化	床:ビニールシート(ドライ)、 塗床(ドライ)、タイル(ウェット) 洋式、和式
省エネ化	電気設備	LED照明に交換 (人感センサー、照度センサー付)	LED照明に交換	蛍光灯(Hf)照明更新		LED、蛍光灯
	給排水衛生設備	節水型便器、 小便器(センサー付)	節水型便器			小便器 (センサー付)、(センサー無)
	空調設備	ヒートポンプ式 マルチエアコン 全熱交換器 (CO2センサー付)	床暖房 全熱交換器	エアコン 24時間換気	FF式ヒーター 換気扇	24時間換気有、24時間換気無 エアコン、FF式ヒーター
バリアフリー	建築	スロープ、手すり	案内板、カウンター	誘導ブロック	車椅子対応駐車場	スロープ 手すり有、手すり無
	トイレ	多目的トイレ	車椅子用トイレ	校庭開放用		車椅子用トイレ
	昇降機	車椅子対応 エレベーター	乗用エレベーター			車椅子用エレベーター有、 エレベーター無
防災・防犯	建築	非構造部の耐震化	構造部の耐震化			構造部の耐震化 非構造部の耐震化
	自家発電設備	非常用自家発電設備	発電機(ポータブル)			発電機(ポータブル)有、 発電機無
	インターホン	モニター付	管理室、教室			インターホン(モニター付)有、 インターホン無
	防犯カメラ	防犯カメラ	防犯カメラ(正面玄関)			防犯カメラ (警備システム)
	防災設備	災害時飲料用 受水槽ステンレス製	災害時飲料用 受水槽FRP製			受水槽有、受水槽無

◆図表 5-1-2 改修等の整備水準基準検討表（中学校）

改修案 (内部改修と同時に実施し機能向上を図る改修)						
部位		改修メニュー(整備レベル)				既存の整備レベル
		高			低	
外部仕上げ	屋根・屋上	ステンレス製屋根 葺替え	ガルバリウム鋼板製 屋根葺替え	カラー鉄板屋根 葺替え	屋根塗装	洋瓦葺き
	外壁	外断熱パネル	外壁塗装 (光触媒フッ素樹脂塗材)	内断熱	外壁塗装 (防水型複層塗材)	コンクリート打放+吹付
	外部開口部 (校舎)	サッシ交換 (Low-e複層ガラス)	サッシ交換 (カバー・はつり工法) (複層ガラス等)		既存サッシの強化ガラス交換	アルミサッシ(単板ガラス)
	外部開口部 (体育館)	サッシ交換 (Low-e複層ガラス)	サッシ交換 (カバー・はつり工法) (複層ガラス等)		既存サッシの強化ガラス交換	木+アルミ複合サッシ、 アルミサッシ(単板ガラス)
内部仕上げ	内部仕上げ (教室等)	内装の全面撤去・更新 (木質化)	床、壁、天井撤去・更新 黒板・ロッカー等更新	床補修 壁、天井塗替え	黒板更新	床:フローリング 壁:板張、ビニークロス 天井:ボード
	トイレ	内装の全面撤去・更新 ドライ化 洗浄機能付便座	内装の全面撤去・更新 洗浄機能付便座 (一部)	床補修 壁、天井塗替え	洋式化	床:タイル(ウェット) 和式、一部洋式
省エネ化	電気設備	LED照明に交換 (人感センサー、照度センサー付)	LED照明に交換	蛍光灯(Hf)照明更新		蛍光灯
	給排水衛生設備	節水型便器、 小便器(センサー付)	節水型便器			小便器(センサー無)
	空調設備	ヒートポンプ式 マルチエアコン 全熱交換器 (CO2センサー付)	床暖房 全熱交換器	エアコン 24時間換気	FF式ヒーター 換気扇	エアコン 床暖房
バリアフリー	建築	スロープ、手すり	案内板、カウンター	誘導ブロック	車椅子対応駐車場	スロープ
	トイレ	多目的トイレ	車椅子用トイレ	校庭開放用		車椅子用トイレ
	昇降機	車椅子対応 エレベーター	乗用エレベーター			エレベーター無
防災・防犯	建築	非構造部の耐震化	構造部の耐震化			構造部の耐震化 非構造部の耐震化
	自家発電設備	非常用自家発電設備	発電機(ポータブル)			発電機無
	インターホン	モニター付	管理室、教室			インターホン無
	防犯カメラ	防犯カメラ	防犯カメラ(正面玄関)			防犯カメラ (警備システム)
	防災設備	災害時飲料用 受水槽ステンレス製	災害時飲料用 受水槽FRP製			受水槽有

2 維持管理の項目・手法等

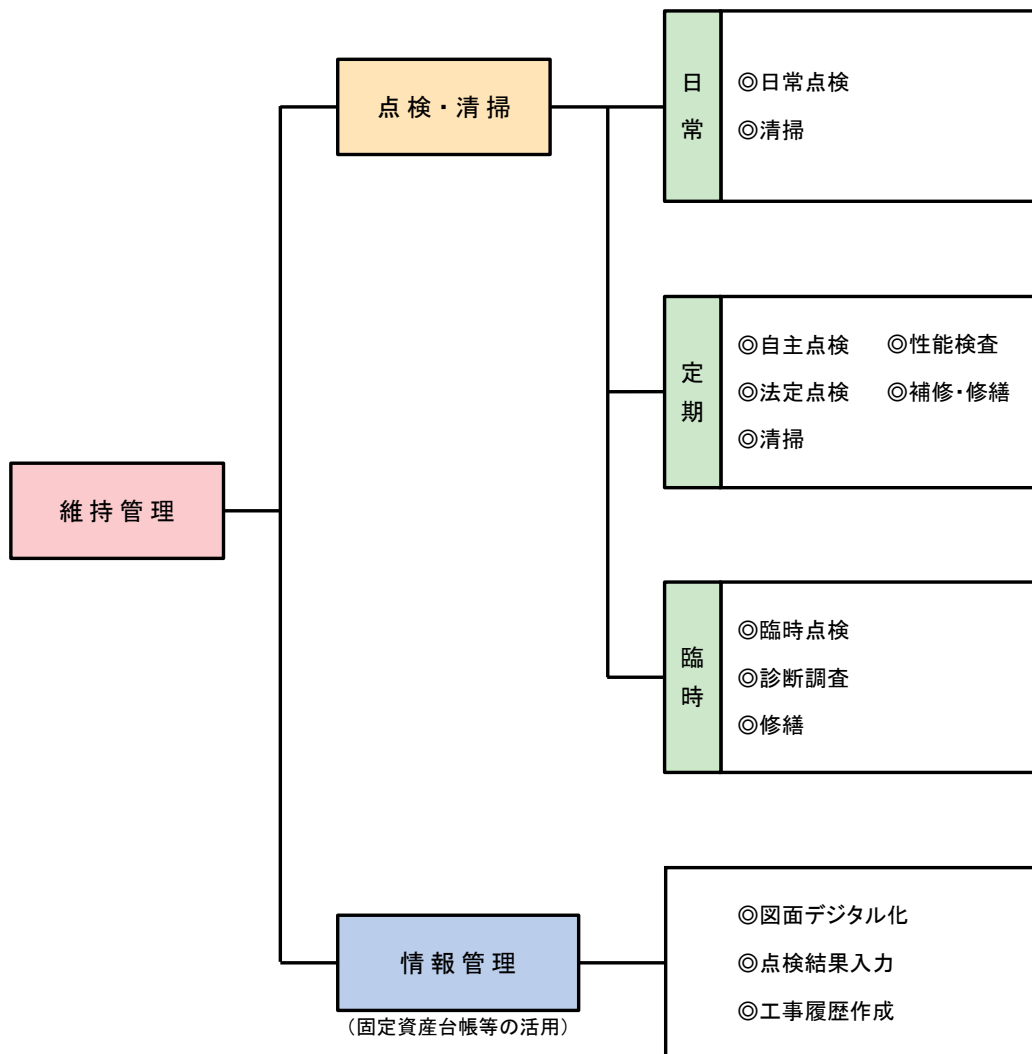
長寿命化を図るためには、定期的に改修工事を行うだけでなく、日常的、定期的に施設の点検や清掃、情報管理を行う必要があります。

日常的、定期的に維持管理を行うことで、建物の劣化状況を詳細に把握でき、より早急に異常に気付くことができるため、施設に応じた維持、改修内容や時期を計画に反映することができます。

◆図表 5-2 維持管理の項目・手法例

維持管理分類	項目	内容	頻度	主な担当者
日常的な点検	日常点検	機器及び設備について、異常の有無、兆候を発見する。	毎日	学校、教育委員会
清掃	清掃	快適な環境を維持しながら建物の仕上材や機器の寿命を延ばすため、塵や汚れを除去する。	各点検に合わせて随時実施	学校、教育委員会、専門業者
定期的な点検	自主点検	機器及び設備の破損、腐食状況を把握し、修理・修繕等の保全計画を立てる。	1週、1ヶ月、半年、1年等周期を設定	学校、教育委員会
	法定点検	自主点検では確認できない箇所や、法的に定められた箇所に関して、専門業者により点検する。		専門業者
臨時的な点検	臨時点検	日常、定期点検以外に行う臨時点検。	故障警報、気象情報等により、随時実施	学校、教育委員会、専門業者
情報管理	図面デジタル化	学校施設の図面をデジタル化・管理し、点検や現状把握の際に活用する。	随時	教育委員会
	点検結果入力	点検・工事の履歴を作成し、各学校施設の現状把握や計画への反映に活用する。	各点検に合わせて随時実施	教育委員会
	工事履歴作成		改修、修繕後に実施	教育委員会

◆図表 5-3 維持管理の項目



第6章 長寿命化の実施計画

1 長寿命化の実施計画（中・長期計画）について

中・長期計画は、学校施設の実状と課題を踏まえ、長寿命化、改修等における基本方針をもとに今後の対策の方向性や改修・改築の時期、及び事業費を年度計画に落とし込んだものです。

学校施設の老朽化、児童生徒数の減少・少子高齢化による厳しい財政状況などにより、現状のまま維持していくことは困難な状況です。

本当に必要か、持続可能かを長期的な視点をもって見直すことにより、児童生徒及び職員に安全安心で質の高い教育環境を提供するとともに、持続可能な財政運営を目指していきます。

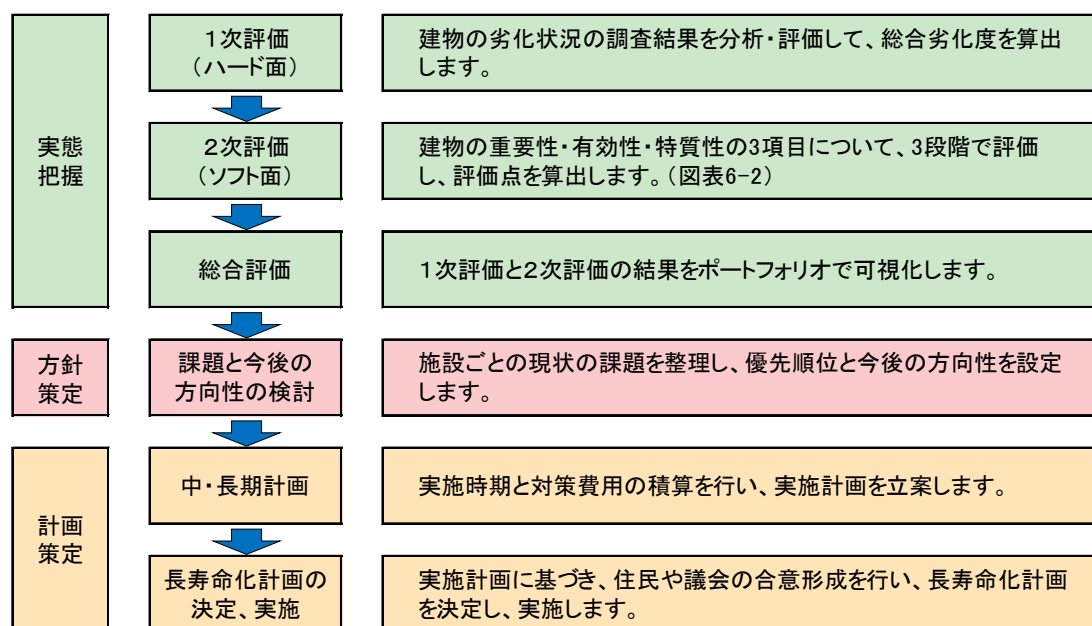
なお、本計画は5年ごとに計画の見直しを図り、時点修正を行います。

2 優先順位の考え方

図表 6-1 のフローにより優先順位を検討しますが、主な視点は次のとおりです。

- ① 安全性……緊急性、耐震性、長寿命化、障害の排除
- ② 機能性……原状回復、防災・防犯、省エネ
- ③ 経済性……ライフサイクルコストの低減
- ④ 代替性……他に代替えないもの
- ⑤ 社会性……社会的ニーズ（洋式トイレ、LED、空調、ユニバーサルデザインなど）

◆図表 6-1 優先順位判断と計画策定フロー



◆図表 6-2 2次評価（ソフト面）の評価方法

施設が持つ 重要性、有効性、特質性の3つの区分について、下記の主な評価項目の該当数に
 じ、「3」、「2」、「1」の3段階で評価します。また区分ごとに重みづけの係数を設定し、評価点と係数を
 乗じたものを合計した「施設評価点」によって、2次評価(ソフト面)を行います。

区分	評価項目	説明
重要性	施設の必要性	行政サービスを行う上で必要な施設である
	施設の社会的要請	施設で提供されている事業のニーズが設置当時と同様にある
	防災計画等重要施設	避難所に指定されているなど、災害時に必要な施設である
有効性	施設設置目的との合致	施設設置目的と利用形態が合致している
	施設利用の汎用性	投票所等にも活用可能で汎用性の高い施設
	施設サービスの公共性	多数の住民に利益が及ぶ公益的な事業を展開している
特質性	施設の必需性	同種又は類似する機能を有する施設が存在しない
	施設の立地状況	浸水想定区域・土砂災害警戒区域内には設置されていない
	施設の住民要望	住民からの施設整備要望が高い

施設評価区分の重みづけ係数

施設の重要性	評価点	×	係数	1.00
施設の有効性	評価点	×	係数	0.75
施設の特質性	評価点	×	係数	0.50



3 学校施設の個別施設計画

建物ごとの個別施設計画表の記載内容について説明します。

① 基礎調査表

建物の基本情報と利用状況等の現状、劣化調査結果（1次評価）とソフト面の評価（2次評価）の結果を、建物ごとに整理しています。

② 総合評価

1次評価と2次評価の点数により、ポートフォリオで表したものです。

1次評価点、2次評価点がともに高い建物は、最も優先順位が高いと判断します。

③ 中・長期計画

建物ごとの残存耐用年数、直近の実施計画、適正配置の検討結果、長寿命化する建物は、20年周期の改修時期、費用を推計しています。

改築単価は、総務省 公共施設等更新費用試算ソフト「分類別更新単価」より設定しています。なお、事業費をすでに個別に算出している場合は、その事業費を費用計上します。

費用の推計には、文部科学省提供の「エクセルソフト」を使用し、今後、同規模で更新した場合の必要コストを試算しています。

◆図表 6-3 更新・改修単価表

分類別	改築	長寿命化改修	大規模改造
【学校教育系施設】 小学校、中学校、その他	33 万円/㎡	19.8 万円/㎡	8.25 万円/㎡
【学校教育系施設】 小学校体育館、中学校体育館	32 万円/㎡	19.2 万円/㎡	7.04 万円/㎡

④ 主な課題と今後の方向性

1次評価、2次評価の結果、配置及び現段階で把握している現状の課題を建物ごとに記載しています。

学校施設整備の基本的方針を踏まえた当該学校施設の今後の方向性、若しくは適正配置の方向性の検討結果を記載しています。

今後、この計画をもとに住民や議会での合意形成を図りながら実施していくこととなります。具体的な実施計画があるものについては、その旨を記載しています。

なお、この計画は、児童生徒数の変化、社会経済情勢、国の補助制度などの動向により、柔軟に見直すこととします。

4 学校施設の個別施設計画表

建物ごとに個別施設計画を行います。

【学校教育系施設】

- (1) 南条小学校
- (2) 坂城小学校
- (3) 村上小学校
- (4) 坂城中学校
- (5) 大峰教室

(1) 南条小学校

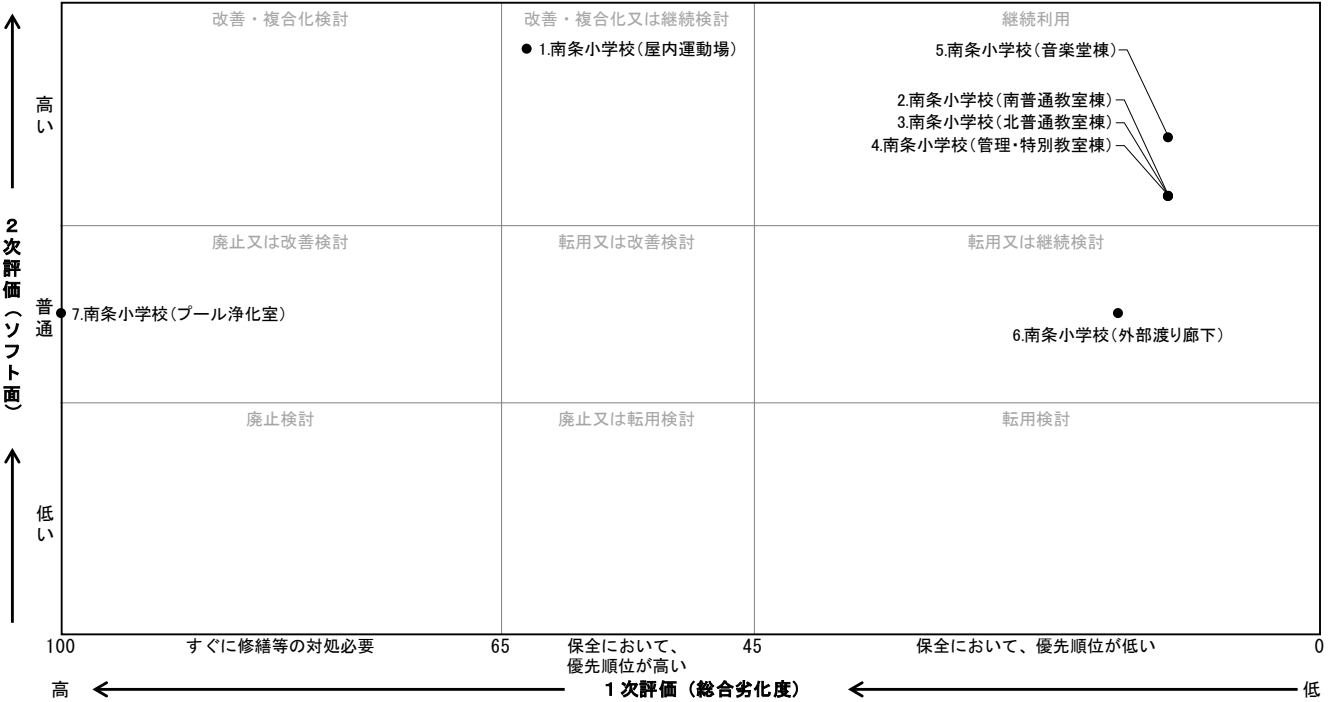
2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

①基礎調査表

建 物 基 本 情 報											現 状									
番号	施設名	建物名	棟番号	所在地	所管課	中分類	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	築 年 数	管理 形態	設置目的、 機能、役割	避難 所指定	ソフト面の評価 (2次評価)				施設整備状況	劣化調査結果 (1次評価)	
														重要性	有効性	特質性	評価		試算上の 区分 (※1)	躯体以外 の総合 劣化度
1	南条小学校	屋内運動場	019	南条 2036	教育文化課	学校	S	854.06	S51 (1976)	44	直 営	体育館	有	3	3	3	6.75	R元 カーテンレール修繕工事 H27 天井落下防止等対策工事 H22 耐震補強工事	長寿命	63
2	南条小学校	南普通教室 棟	023	南条 2036	教育文化課	学校	RC	954.71	H27 (2015)	5	直 営	校舎	無	3	2	2	5.50	H27 改築工事	長寿命	12
3	南条小学校	北普通教室 棟	22	南条 2036	教育文化課	学校	RC	1,611.49	H27 (2015)	5	直 営	校舎	無	3	2	2	5.50	H30 コンテナ室床貼工事 H27 改築工事	長寿命	12
4	南条小学校	管理・特別教 室棟	024	南条 2036	教育文化課	学校	RC	1,752.70	H27 (2015)	5	直 営	校舎	無	3	2	2	5.50	R元 児童支援施設整備工事(手 すり、スロープ等設置) H27 改築工事	長寿命	12
5	南条小学校	音楽堂棟	025-1	南条 2036	教育文化課	学校	RC	710.36	H27 (2015)	5	直 営	音楽堂棟	無	3	2	3	6.00	H27 改築工事	長寿命	12
6	南条小学校	外部渡り廊 下	025-2	南条 2036	教育文化課	学校	S	63.89	H27 (2015)	5	直 営	外部渡り廊下	無	2	2	2	4.50	H27 改築工事	長寿命	16
7	南条小学校	プール浄化 室		南条 2036	教育文化課	学校	W	13.25	S45 (1970)	50	直 営	プール浄化室	無	2	2	2	4.50	H30 ろ過機改修工事	改築	(115)
A	南条小学校	プール		南条 2036	教育文化課	学校	RC	(大)25×13 (小)9×12	S35 (1960)	60	直 営	プール						H30 防水シート修繕工事 H28 排水管改修工事 R2 プールシート改修工事		
ア	南条小学校	遊具			教育文化課	学校		一式			直 営	遊具								

※1 長寿命:長寿命化改修対象 要調査:耐震診断・耐震補強対象 改築:建替え対象

②総合評価



第6章 長寿命化の実施計画

 残存使用年数
  大規模改造
(RCS,CB造:80年目)
(W造:50年目)
  長寿命化改修
(RCS,CB造:80年目)
  大規模改造
(RCS,CB造:80年目)
  改築
(RCS,CB造:80年目)
(W造:50年目)
  部位修繕
その他
(百万円)

③中・長期計画

R3－R12										R13－R22										R23－R32										R33－R42										番号				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40					
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1			
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2				
2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	3					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9				0	4	
																																										5		
																																												6
																																								7				
																																								A				
																																								ア				
																																								合計				

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
1	南条小学校	屋内運動場	避難所としての大規模改造(空調)の必要性	防災担当部局と連携のうえ計画的な整備を検討	継続	継続
2	南条小学校	南普通教室棟	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
3	南条小学校	北普通教室棟	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
4	南条小学校	管理・特別教室棟	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
5	南条小学校	音楽堂棟	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
6	南条小学校	外部渡り廊下	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
7	南条小学校	プール浄化室	建物老朽化・耐用年数超過	劣化・利用状況により改築	継続	継続
A	南条小学校	プール	老朽化・大規模改修時期到来	劣化・利用状況により改修	継続	継続
ア	南条小学校	遊具	(坂城町学校施設長寿命化計画(遊具編)参照)			
南条学校 全体			バリアフリー化	順次検討	継続	継続

(2) 坂城小学校

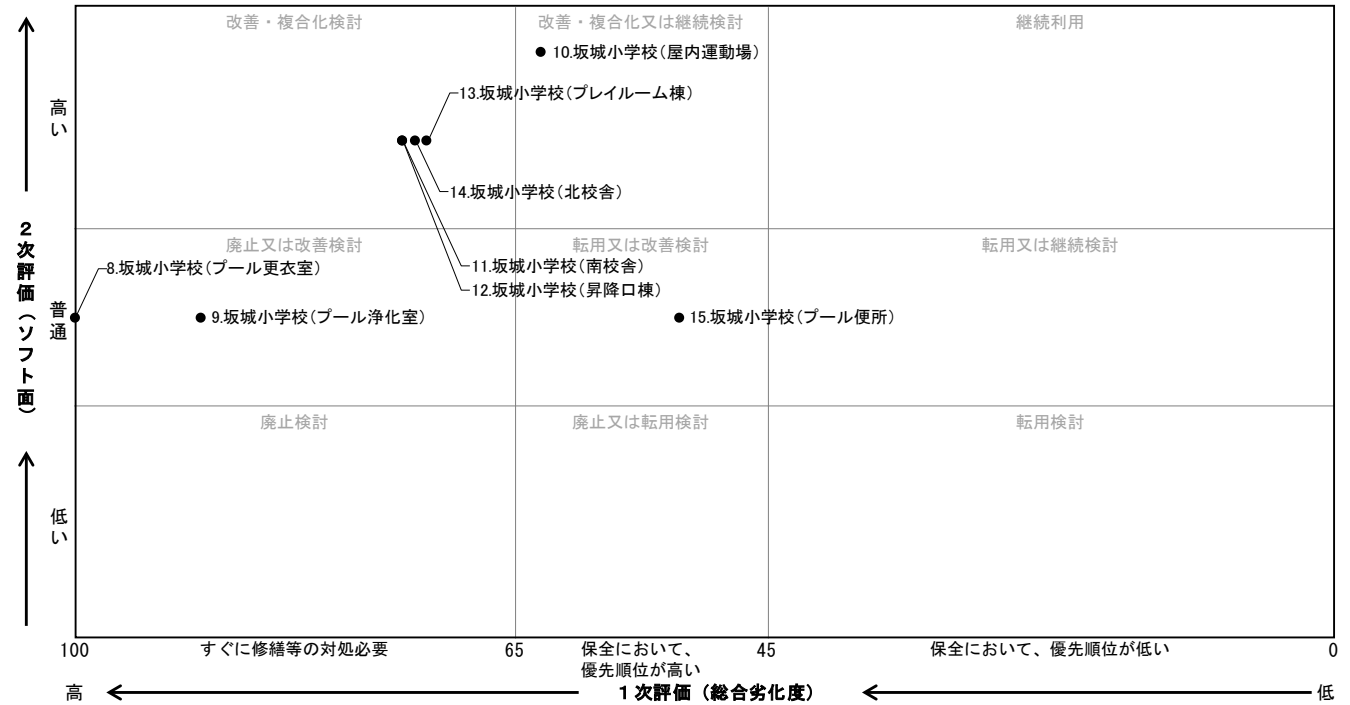
2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

①基礎調査表

建 物 基 本 情 報											現 状									
番号	施設名	建物名	棟番号	所在地	所管課	中分類	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	築 年数	管理 形態	設置目的、 機能、役割	避難 所指定	ソフト面の評価 (2次評価)				施設整備状況	劣化調査結果 (1次評価)	
														重 要 性	有 効 性	特 質 性	評 価		試算上の 区分 (※1)	躯体以外 の総合 劣化度
8	坂城小学校	プール更衣室		坂城 6227	教育文化課	学校	W	65.32	S45 (1970)	50	直 営	プール更衣室	無	2	2	2	4.50		改築	(115)
9	坂城小学校	プール浄化室	015	坂城 6227	教育文化課	学校	CB	6.00	S45 (1970)	50	直 営	プール浄化室	無	2	2	2	4.50		要調査	90
10	坂城小学校	屋内運動場	019	坂城 6227	教育文化課	学校	S	968.00	S54 (1979)	41	直 営	体育館	有	3	3	3	6.75	H27 天井落下防止等対策工事 H22 改修工事(耐震補強)	長寿命	63
11	坂城小学校	南校舎	017-1	坂城 6227	教育文化課	学校	RC	1,088.00	S52 (1977)	43	直 営	校舎	無	3	2	3	6.00	R元 PS内井水漏水修繕工事 H30 2階防火扉修繕工事 H22 改修工事(耐震補強)	長寿命	74
12	坂城小学校	昇降口棟	017-2	坂城 6227	教育文化課	学校	RC	697.00	S52 (1977)	43	直 営	校舎	無	3	2	3	6.00	R元 昇降口タイル改修工事 H22 改修工事(耐震補強)	長寿命	74
13	坂城小学校	ブレイルーム棟	017-3	坂城 6227	教育文化課	学校	RC	175.00	S52 (1977)	43	直 営	ブレイルーム	無	3	2	3	6.00		長寿命	72
14	坂城小学校	北校舎	018-1、 018-2	坂城 6227	教育文化課	学校	RC	3,472.31	S53 (1978)	42	直 営	校舎	無	3	2	3	6.00	R元・H30 空調設備設置工事 R元 3階PS内井水漏水修繕工事 H30 事務室前漏水修理 H29 3階女子トイレ改修工事 H28 2階女子トイレ改修工事 H10 改修工事(耐震補強)	長寿命	73
15	坂城小学校	プール便所	021	坂城 6227	教育文化課	学校	W	8.00	H6 (1994)	26	直 営	プール便所	無	2	2	2	4.50		改築	52
B	坂城小学校	プール		坂城 6227	教育文化課	学校	RC	(大)25×15 (小)15×10	S35 (1960)	60	直 営	プール						H28 プール改修工事(大プールろ過機改修含む)		
イ	坂城小学校	遊具			教育文化課	学校		一式			直 営	遊具								

※1 長寿命:長寿命化改修対象 要調査:耐震診断・耐震補強対象 改築:建替え対象

②総合評価



 残存使用年数
 大規模改造
(RC,S,CB造:80年目)
(W造:50年目)
 長寿命化改修
(RC,S,CB造:80年目)
 大規模改造
(RC,S,CB造:80年目)
 改築
(RC,S,CB造:80年目)
(W造:50年目)
 部位修繕
その他
(百万円)

④主な課題と今後の方向性

45

(3) 村上小学校

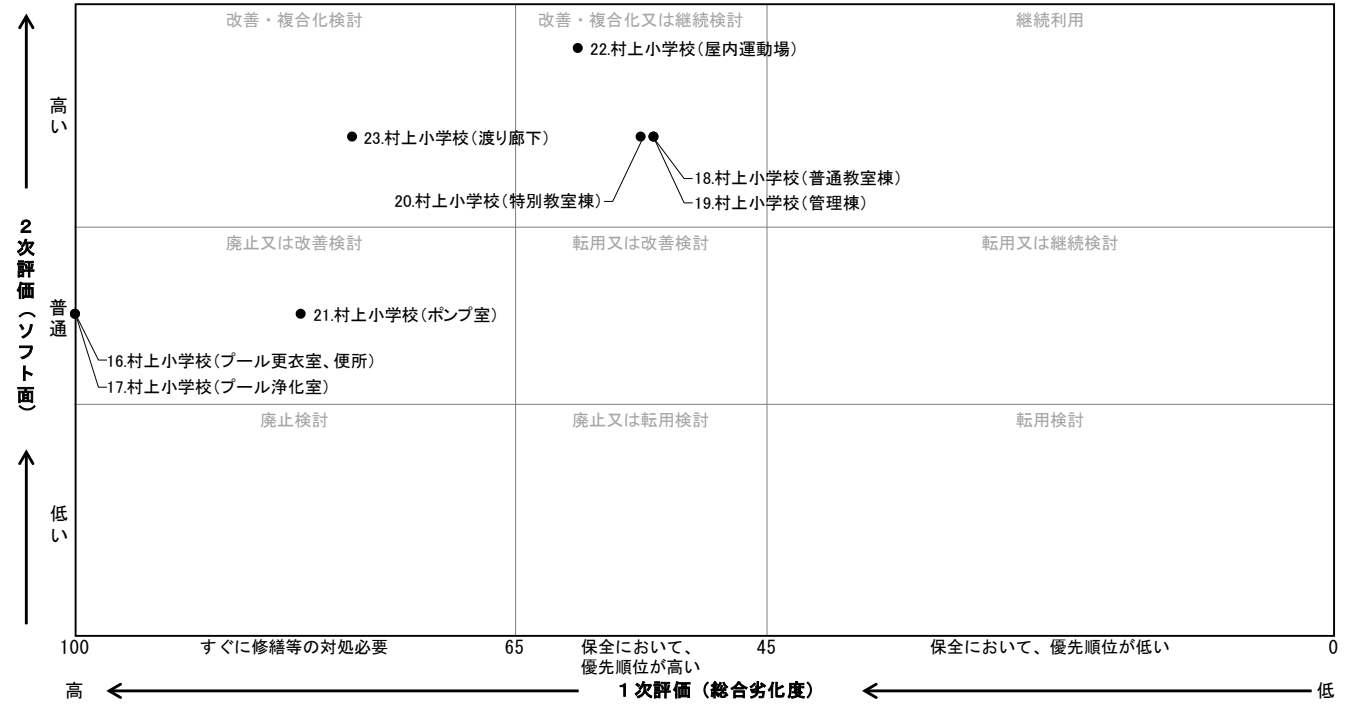
2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

①基礎調査表

建 物 基 本 情 報											現 状									
番号	施設名	建物名	棟番号	所在地	所管課	中分類	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	築 年 数	管理 形態	設置目的、 機能、役割	避難 所指定	ソフト面の評価 (2次評価)				施設整備状況	劣化調査結果 (1次評価)	
														重要性	有効性	特質性	評価		試算上の 区分 (※1)	躯体以外 の総合 劣化度
16	村上小学校	プール更衣室、便所		上平 1428-1	教育文化課	学校	CB	30.25	S48 (1973)	47	直営	プール更衣室、便所	無	2	2	2	4.50		要調査	100
17	村上小学校	プール浄化室	017	上平 1428-1	教育文化課	学校	CB	6.00	S48 (1973)	47	直営	プール浄化室	無	2	2	2	4.50	H26ろ過機改修工事	要調査	105
18	村上小学校	普通教室棟	018	上平 1428-1	教育文化課	学校	RC	1,822.15	S52 (1977)	43	直営	校舎	無	3	2	3	6.00	R元・H30 空調設備設置工事 H24 改修工事(耐震補強)	長寿命	54
19	村上小学校	管理棟	019	上平 1428-1	教育文化課	学校	RC	412.51	S54 (1979)	41	直営	校舎	無	3	2	3	6.00	H27 昇降口前タイル補修工事 H24 改修工事	長寿命	54
20	村上小学校	特別教室棟	020	上平 1428-1	教育文化課	学校	RC	1,665.54	S53 (1978)	42	直営	校舎	無	3	2	3	6.00	H24 改修工事(耐震補強)	長寿命	55
21	村上小学校	ポンプ室	021	上平 1428-1	教育文化課	学校	CB	12.00	S53 (1978)	42	直営	ポンプ室	無	2	2	2	4.50		要調査	82
22	村上小学校	屋内運動場	022-1	上平 1428-1	教育文化課	学校	S	1,016.00	S54 (1979)	41	直営	体育館	有	3	3	3	6.75	R元 外壁修繕工事 H28 天井改修工事 H27 落下防止等対策工事 H20 改修工事(耐震補強)	長寿命	60
23	村上小学校	渡り廊下	022-2	上平 1428-1	教育文化課	学校	S	101.00	S54 (1979)	41	直営	渡り廊下	無	3	2	3	6.00	H24 改修工事	長寿命	78
C	村上小学校	プール		上平 1428-1	教育文化課	学校	RC	(大)25×13 (小)7×13	S35 (1960)	60	直営	プール						H24プール改修工事(FRP)		
ウ	村上小学校	遊具			教育文化課	学校		一式			直営	遊具								

※1 長寿命:長寿命化改修対象 要調査:耐震診断・耐震補強対象 改築:建替え対象

②総合評価



第6章 長寿命化の実施計画

③中・長期計画

④主な課題と今後の方向性

47

(4) 坂城中学校

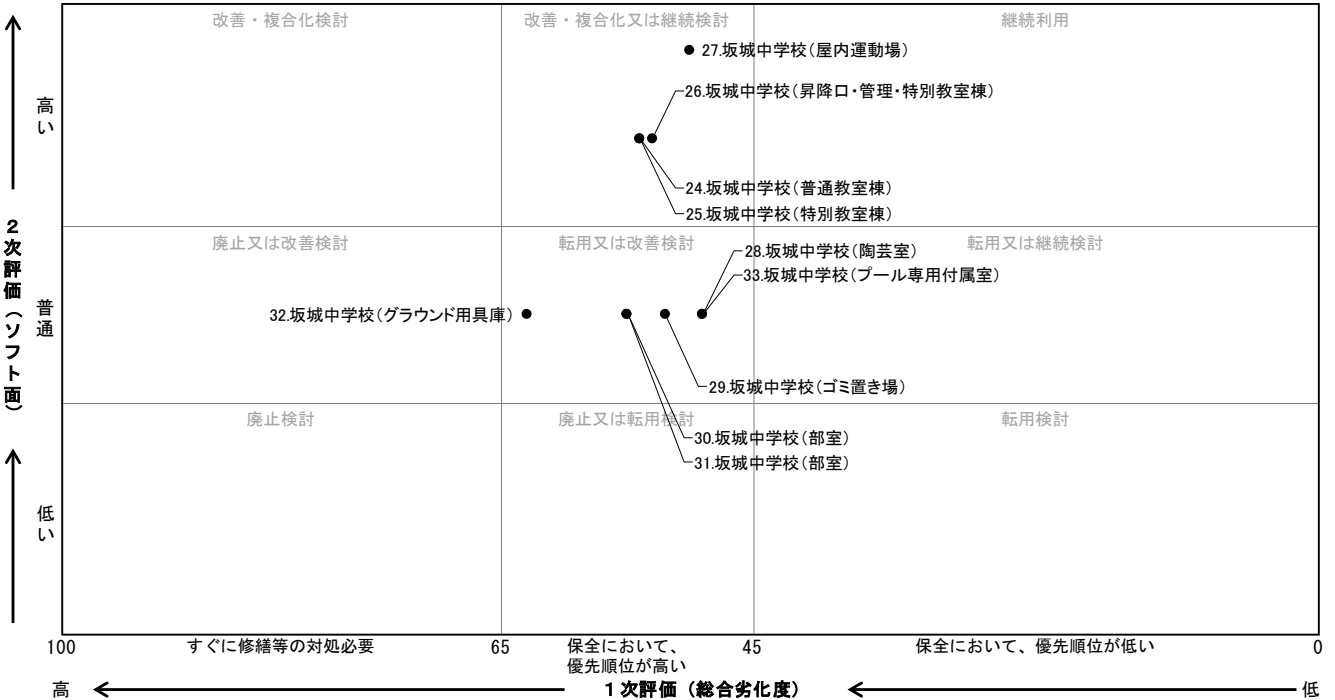
2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

①基礎調査表

建 物 基 本 情 報											現 状									
番号	施設名	建物名	棟番号	所在地	所管課	中分類	構造	延床面積 (㎡)	建築 年度	築 年数	管理 形態	設置目的、 機能、役割	避難 所指定	ソフト面の評価 (2次評価)				施設整備状況	劣化調査結果 (1次評価)	
														重要性	有効性	特質性	評価		試算上の 区分 (※1)	躯体以外 の総合 劣化度
24	坂城中学校	普通教室棟	038	中之条 926	教育文化課	学校	RC	3,375.75	H4 (1992)	28	直営	校舎	無	3	2	3	6.00	R元・H30 空調設備設置工事	長寿命	54
25	坂城中学校	特別教室棟	041	中之条 926	教育文化課	学校	RC	1,652.31	H4 (1992)	28	直営	校舎	無	3	2	3	6.00	R元-H28 空調設備設置工事 H29 理科室床改修工事 H27 受電設備改修工事	長寿命	54
26	坂城中学校	昇降口・管理・特別教室棟	042	中之条 926	教育文化課	学校	RC	3,100.77	H5 (1993)	27	直営	校舎	無	3	2	3	6.00	R元・H30・H27 空調設備設置工事 R元・H27 漏水修繕工事 H29 スチール扉交換修繕工事	長寿命	53
27	坂城中学校	屋内運動場	046-1、 046-2、 047	中之条 926	教育文化課	学校	RC	1,749.75	H8 (1996)	24	直営	体育館	有	3	3	3	6.75	R元 入口天井雨漏修繕工事 H28 非構造部材等落下防止工事、 屋根防水工事	長寿命	50
28	坂城中学校	陶芸室	048	中之条 926	教育文化課	学校	RC	13.00	H9 (1997)	23	直営	陶芸室	無	2	2	2	4.50		長寿命	49
29	坂城中学校	ゴミ置き場	049	中之条 926	教育文化課	学校	RC	56.00	H9 (1997)	23	直営	ゴミ置き場	無	2	2	2	4.50		長寿命	52
30	坂城中学校	部室	050	中之条 926	教育文化課	学校	W	88.00	H9 (1997)	23	直営	部室	無	2	2	2	4.50		改築	55
31	坂城中学校	部室	051	中之条 926	教育文化課	学校	W	105.00	H9 (1997)	23	直営	部室	無	2	2	2	4.50		改築	55
32	坂城中学校	グラウンド用具庫	052	中之条 926	教育文化課	学校	RC	98.00	H9 (1997)	23	直営	グラウンド用具庫	無	2	2	2	4.50		長寿命	63
33	坂城中学校	プール専用付属室	053	中之条 926	教育文化課	学校	RC	89.00	H9 (1997)	23	直営	プール専用付属室	無	2	2	2	4.50	R元 給水ポンプ修理	長寿命	49
D	坂城中学校	プール		中之条 926	教育文化課	学校	RC	25×17	S37 (1962)	58	直営	プール						R元 プールコーキング打直し修繕工事		
E	坂城中学校	遊具			教育文化課	学校		一式			直営	遊具								

※1 長寿命:長寿命化改修対象 要調査:耐震診断・耐震補強対象 改築:建替え対象

②総合評価



残存使用年数

△

大規模改造
(RC,S,CB造:80年目)
(W造:50年目)

●

長寿命化改修
(RC,S,CB造:80年目)

○

大規模改造
(RC,S,CB造:80年目)

◇

改築
(RC,S,CB造:80年目)
(W造:50年目)

■

部位修繕
その他

③中・長期計画

R3－R12										R13－R22										R23－R32										R33－R42										番号																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40																				
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																				
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																				
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6																				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0																				
● トイレ洋式化工事										● 668																				○ 278										24																			
■ 大規模改造 (空調)										● 298.5																				○ 136										25																			
■ 大規模改造 (空調)										● 585.5																				○ 256										26																			
● トイレ洋式化工事																														○ 123										27																			
										● 336																														28																			
										● 3																				○ 1										29																			
										● 11																				○ 5										30																			
△ 7																				◇ 29																				31																			
△ 9																				◇ 35																				32																			
■ 2 屋根改修工事										● 19																				○ 8										33																			
プールろ過機改修工事										■ 15										● 18										■ 15 プールろ過機改修工事										D																			
										■ 20 プールシート改修工事										■ 20										■ 20 プールシート改修工事										E																			
■ 2										■ 2.6 遊具修繕																														合計																			
57 18										2 2.6 15 986.5 585.5										336 51										15 84										414 256										123 21									

④主な課題と今後の方向性

番号	施設名	建物名	主な課題	対策の方向性	今後の方向性	
					機能	建物
24	坂城中学校	普通教室棟	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
25	坂城中学校	特別教室棟	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
26	坂城中学校	昇降口・管理・特別教室棟	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
27	坂城中学校	屋内運動場	避難所としての大規模改造(空調)の必要性	防災担当部局と連携のうえ計画的な整備を検討	継続	継続
28	坂城中学校	陶芸室	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
29	坂城中学校	ゴミ置き場	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
30	坂城中学校	部室	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
31	坂城中学校	部室	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
32	坂城中学校	グラウンド用具庫	屋根劣化調査評価Dランク	劣化状況により屋根改修	継続	継続
33	坂城中学校	プール専用付属室	特になし	計画的な維持管理を行う	継続	継続
D	坂城中学校	プール	老朽化・大規模改修時期到来	劣化・利用状況により改修	継続	継続
E	坂城中学校	遊具	(坂城町学校施設長寿命化計画(遊具編)参照)			
坂城中学校 トイレ			洋式化	順次、洋式化を実施	継続	継続
坂城中学校 全体			バリアフリー化	順次検討	継続	継続

(5) 大峰教室

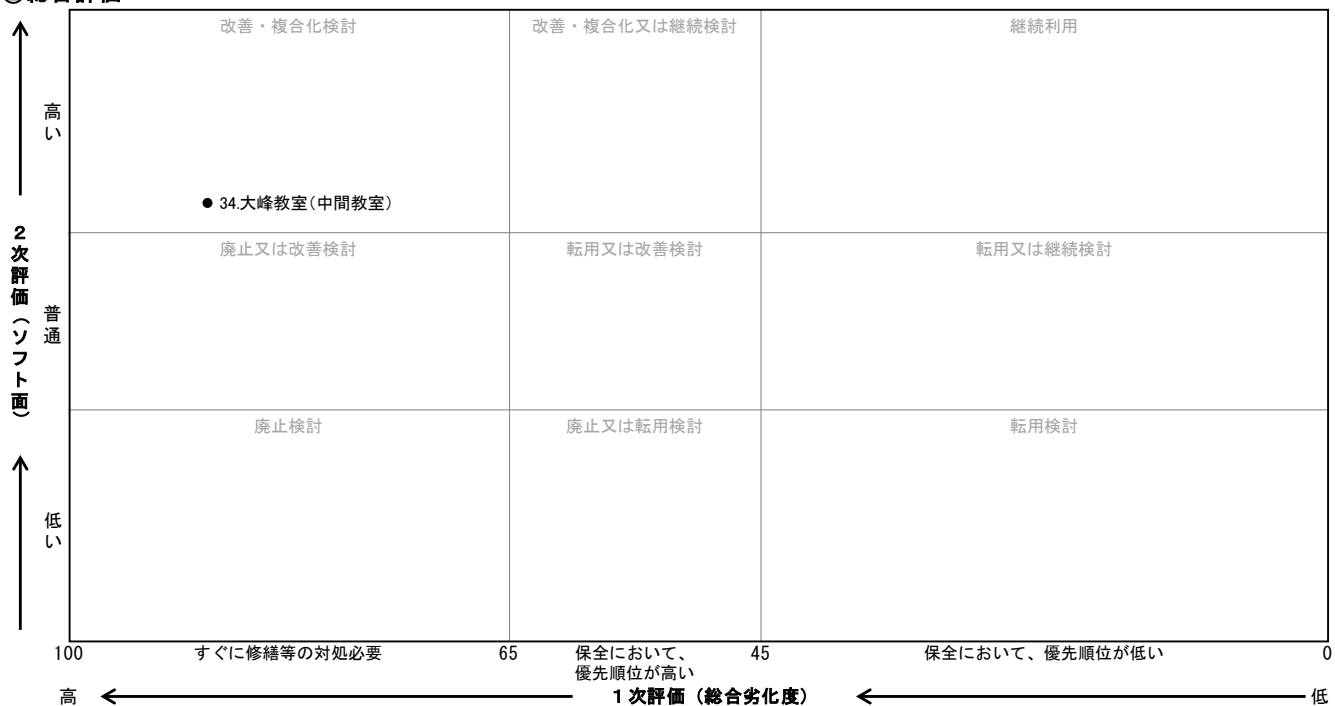
2次評価における重みづけ係数					
重要性	1.00	有効性	0.75	特質性	0.50

①基礎調査表

[illegible]

※1 長寿命:長寿命化改修対象 要調査:耐震診断・耐震補強対象 改築:建替え対象

②総合評価



③中・長期計画

※ 建物解体費用: 単価30,000円/㎡ 公共施設等の解体事業撤去事業に関する調査結果 平成25年12月(総務省自治財政局地方債課)

④主な課題と今後の方向性

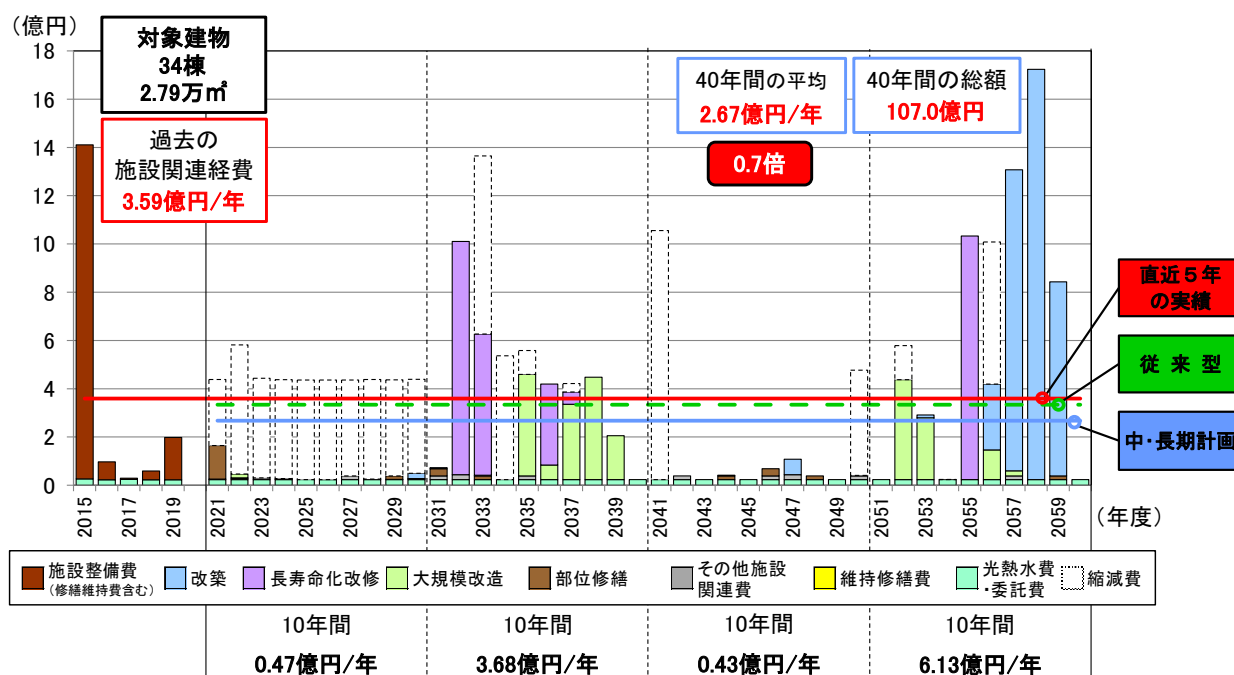
51

5 今後の維持・更新コスト（中・長期計画）

中・長期計画における、今後 40 年間の維持・更新コストは総額約 107.0 億円（2.67 億円/年）となり、従来の改築中心の場合（図表 3-12）の 133.7 億円（3.34 億円/年）より総額 26.7 億円（0.67 億円/年）、約 20%の縮減となります。

また、長寿命化型での試算（図表 4-3）総額 117.8 億円（2.95 億円/年）より総額 10.8 億円（0.28 億円/年）約 9%の縮減となりました。

◆図表 6-4 今後の維持・更新コスト（中・長期計画）



コスト算出条件（中・長期計画）

・物価変動率は考慮しない。

基準年度：令和 2（2020）年度（試算期間：基準年の翌年度から 40 年間）

改 築：更新周期 RC, S, CB 造：80 年 W 造：50 年

大規模改造：実施年数 RC, S, CB 造：20 年周期 W 造：25 年周期

単 価 設 定：図表 6-3 更新・改修単価表

プ ール：プールシート改修工事 周期 15 年

改修費用 中学校 20 百万円/校 小学校 15 百万円/校

「その他施設関連費」に計上

遊 具：更新、維持管理計画は 10 年間とし、費用は「その他施設関連費」に計上
（坂城町学校施設長寿命化計画（遊具編）参照）

第7章 長寿命化計画の継続的運用

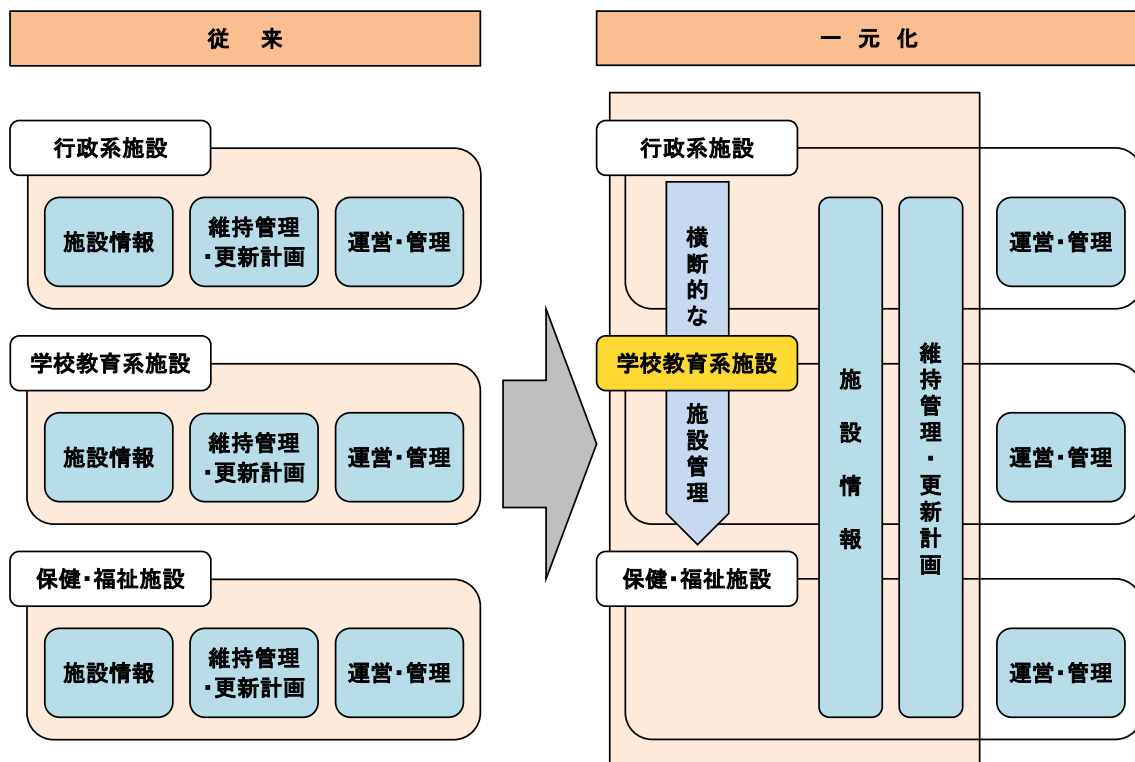
1 情報基盤の整備と活用

学校施設の点検・診断の結果は、今後の維持管理・更新の基礎資料となる重要な情報であるため、記録・保存する必要があります。また、点検・診断後に修繕等を行った場合の修繕履歴についても、同様に記録することで、効率的な維持管理を行うことが可能となります。

このため、公共施設等総合管理計画の策定と連動して、固定資産台帳や学校施設台帳等を活用して、施設の基本情報、改修・補修等の工事履歴や劣化情報等の一元管理を行っていきます。

また、固定資産台帳や複式簿記による財務書類との連携方法についても検討します。

◆図表 7-1 施設管理の一元化（イメージ）



2 財源の確保

学校施設の維持管理、改修、改築等は事業費が高額となるため、今後、限られた財源の中で実効性を高めるために、学校施設の運営面・活用面などの見直しを行うなど、総合的に検討します。

また、国の動向にも注視し、国庫補助事業や有利な地方債を有効的に活用して実施します。

3 推進体制等の整備

学校施設の所管課である教育委員会を中心に、本計画を含む学校施設マネジメントを行っていきます。

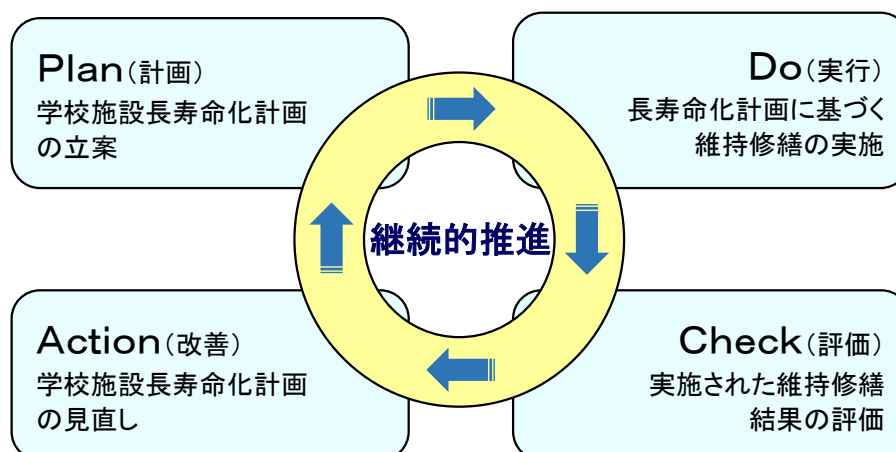
また、日常の施設管理の質を向上させるため、専門業者による定期的な点検や各種報告書を活用して不具合箇所の早期把握と対応を図ります。

4 フォローアップの実施方針

本計画は上位計画である長期総合計画、総合管理計画の更新等に合わせ、本計画の進捗状況等についてPDCA（計画・実行・評価・改善）サイクルを活用し、フォローアップを行います。

なお、事業の進捗状況、劣化調査などの結果を反映しながら、定期的な見直しを実施するとともに、国の制度変更や社会経済情勢の変化など、前提となる条件が大きく変わった時点で、適宜必要な見直しを行うものとします。

◆図表 7-2 PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクル（イメージ）



坂城町学校施設長寿命化計画

令和 3（2021）年 3 月

坂城町教育委員会

〒389-0692 長野県埴科郡坂城町大字坂城 10050

TEL 0268-75-6209（直通）

FAX 0268-82-8307

